

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書について

この製品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はご購入日より1年間です。
但し、一般家庭用以外（例えば業務用）としてお使いのときは、保証期間内でも有料修理とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのナショナル モミモミ リアルプロGⅡの補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスをご依頼される前に、この取扱説明書の29頁に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてからご購入の販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

ご購入の販売店まで、品名、品番、ご購入日、故障の状況（出来るだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

ご購入の販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずご購入の求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号) 0570-081-365

ハイ 365日
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎06-6906-1090 ☎571-8686 大阪府門真市門真1048
松下電工テクノサービス(株)

札幌 ☎011-261-6401 ☎ 名古屋 ☎052-551-7900 ☎

東京 ☎03-5392-7190 ☎ 福岡 ☎092-622-0531 ☎

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル ☎0120-878-365

パナは 365日
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル ☎0120-878-236

ご注意 ・☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0504

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電工株式会社および松下電工グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

松下電工株式会社 ヘルシー・ライフ事業部

〔〒522-8520〕滋賀県彦根市岡町33番地

2004年06月01日作成（新様式第1版） S NO.3

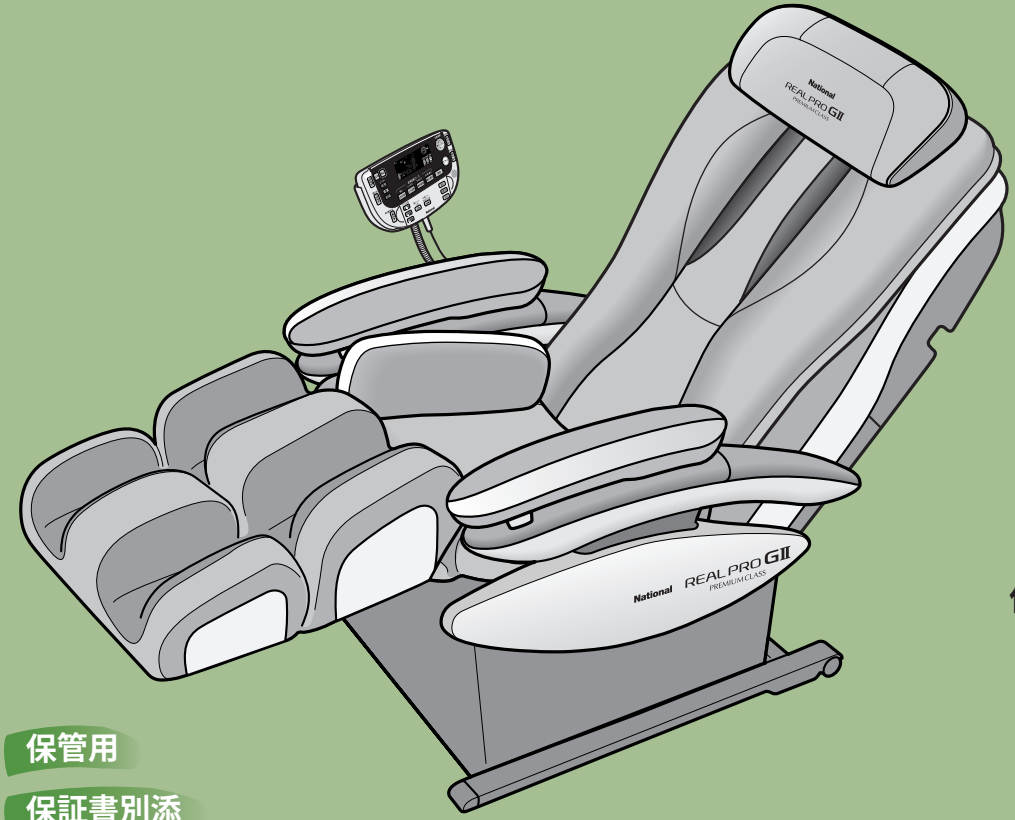
National

ナショナルモミモミ

リアルプロGⅡ EP3500

取扱説明書

- ご購入ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」（1～2ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 保証書は、「ご購入日・販売店名」などの記入を必ずお確かめください。



保管用

保証書別添

医療用具許可番号
25BZ0087

安全上のご注意 1

箱から取出したあとの準備 3

毎回マッサージをはじめる前に 6

各部のなまえとはたらき 7

すぐに使いたいときは（全身自動コース） 9

椅子を調節する 12

お疲れ具合に合わせたマッサージをしたいときは（問診コース） 13

もっと自分に合わせたいときは（ユーザープログラム機能） 17

よりこまかく自分好みのマッサージをしたいときは（お好み動作） 20

マッサージが終わったら 25

お手入れの仕方 26

Q&A 27

故障かな?と思ったとき 29

定格・仕様 30

保証とアフターサービス 裏表紙

ご使用前に

使いかた

お手入れ・Q&A

お知らせ

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。
※安全上の注意についての詳細は各ページにのせています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

**注意**

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例



記号は、**禁止**の行為を示しています。
(左図の場合は分解禁止)



記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。
(左図の場合は電源プラグを抜く)

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	
 必ず守る	● 医師の治療を受けているときや下記の人には必ず医師と相談の上ご使用ください。 (1) ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込型医用電気機器を使用している人 (2) 悪性腫瘍(しゅよう)のある人 (3) 心臓に障害のある人 (4) 生理中の人や妊娠中または出産直後の人 (5) 血栓症や重度の動脈瘤(りゅう)、急性静脈瘤などの血行障害や各種皮膚炎および皮膚感染症などで医師からマッサージを禁じられている人 (6) 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 (7) 骨粗しょう症の人、脊椎(せきつい)を骨折している人、捻挫、肉離れなどの急性疼(とう)痛性疾患の人 (8) 皮膚に創傷のある人 (9) 病氣などで熱の高い人(38度以上) (10) 安静を必要とする人や著しく体調のすぐれないとき (11) 背骨に異常のある人または背骨が曲がっている人 (12) 上記以外に身体に特に異常を感じているとき 事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	● 使用中に身体に異常があらわれたり、感じたときは直ちに使用を中止し、医師に相談する。 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	● マッサージ使用中やリクライニング操作、脚のせ台を出し入れするとき、スライドさせるときは必ず周囲(椅子の後部・下部・前部)に人やペットがいないことを確認する。 ● 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。 ● 体型センシングしたときは必ず肩位置が合っているか確認する。合っていないときは肩位置合わせボタンで合わせる。(全身自動コース、問診コース、お好み動作の肩つかみ・背すじのばしのとき) 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● ご使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください) 布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。
	● 必ず交流100Vで使用する。(海外でのご使用や変圧器を用いたご使用はできません) 守らないと火災や感電・故障の原因になります。
 禁止	● お子様に使わせない。また、本体の上で遊ばせない。背もたれやひじ掛けの上ののったり座ったりしない。 ● 自分で意思表示ができない人、または、自分で操作できない人には使用させない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったりしない。また重いものをのせたり、はさみ込んだりしない。本体・パイプなどに巻き付けない。 火災や感電の原因になります。
	● 電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電やショートの原因になります。
 分解禁止	● 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

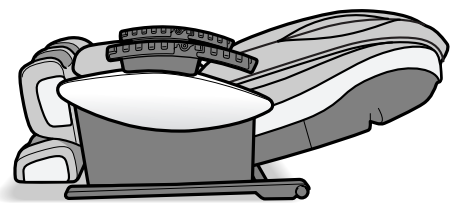
注意

 必ず守る	● もみ玉の位置を確認してから座る。ひじ掛け開閉部の中に異物がないか確認してからマッサージを行う。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● はじめは弱い刺激でマッサージする。また、マッサージは1回15分以内に。また、同一箇所への使用は5分以内にする。 守らないと逆効果やけがのおそれがあります。
	● 使用後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にする。 守らないと子供のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグは確実に最後まで差し込む。 守らないとショートや発火のおそれがあります。
	● 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。 守らないと感電やショートのおそれがあります。
 禁止	● 安全のためにアースを確実に取付ける。(P.5参照) 守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
	● もみ玉部には頭、腹部、素肌をあてない。また、手や足をはさまない。脚のせ台にはひざをあてたり、はさんだりしない。 けがのおそれがあります。(首筋などには柔らかいタオルなどをあててご使用ください。)
	● 手・腕をマッサージするときはつけ爪・時計・指輪などの硬いものを装着したまま使用しない。 けがのおそれがあります。
	● おしり・ふとももをマッサージするときはズボンのポケットに硬いものを入れたままにして使用しない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 使用中に眠らない。また、飲酒後の使用はしない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグにピンやゴミ、水分を付着させない。 感電やショート・発火のおそれがあります。
	● 脚のせ台の上ののったり立ったり座ったり、物をのせたりしない。また、人をのせたまま移動しない。 転倒による事故やけがのおそれがあります。
 水ぬれ禁止	● 背もたれと座の隙間や背もたれ・座とひじ掛けの隙間、脚のせ台のふくらはぎ側と足裏側の隙間に手や脚を入れない。 ● 頭部に髪ざりなどの固いものをつけて使用しない。また、脚のせ台の裏側(下側)に手や頭などを入れない。 ● マッサージ使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。 けがのおそれがあります。
	● ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。 火災のおそれがあります。
	● 本体や操作器には水などをこぼさない。 感電やショート、故障の原因になります。
 電源プラグを抜く	● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 守らないとホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
	● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。 守らないと感電ややけどのおそれがあります。
	● 停電のときは直ちに電源プラグを抜く。 守らないと停電復帰時、事故やけがのおそれがあります。

箱から取出したあとの準備

梱包箱から本体と付属品を取出す

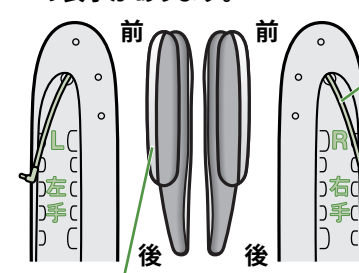
本 体



付属品

ひじ掛け

※ひじ掛け裏面に「右手」「左手」の表示があります。



内側布地部の穴は、製造工程上のものであり異常ではありません。

操作器スタンド



枕



接続ホース
エアープラグ

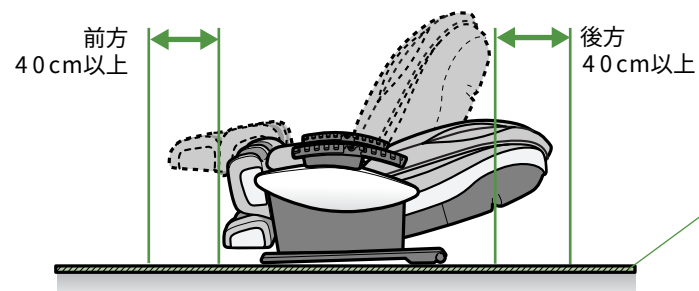
取付ネジ (M6×10) (6本)
操作器スタンド用4本
ひじ掛け右手用1本
ひじ掛け左手用1本

取付ネジ (M5×14) (2本)
プラグカバー用

プラグカバー (2コ)

六角レンチ

設置する場所を決める



マットなど

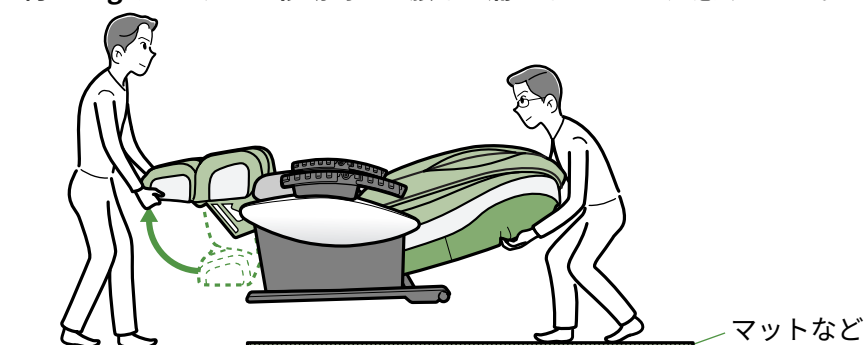
- リクライニングできるスペースを確保してください。
- ※直射日光が毎日長時間あたるところや、ストーブやファンヒーターなどの暖房器具の近くなど直接高温になるところは避けてください。合成皮革が変色したり、変質するおそれがあります。
- ※たたみや床の上に置くときは、跡が付くことがあり、たたみや床をキズつけないためにもマットなどを敷くことをおすすめします。

⚠ 注意

- 浴室など湿気の多い場所で使わない。感電や故障の原因になります。
- 水平な場所で使用する。守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。

商品搬入のしかた

- ※前後から二人で脚のせ台の両側のパイプ部、裏カバーの取っ手を持って移動してください。
- ※構造上、手を離すと脚のせ台がバタンと戻りますので、手や足をはさまないようにご注意ください。
- ※本体(ひじ掛け除く)が、約72kgありますので移動時には腰など痛めないようご注意ください。



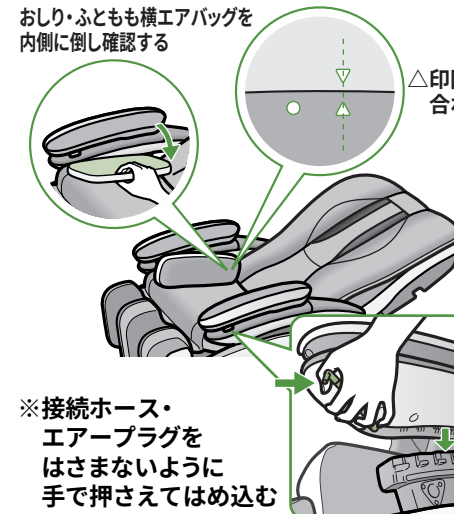
マットなど

ひじ掛けを取付けるときは

1 ひじ掛けを本体にはめ込む

※ひじ掛け裏面に「右手」「左手」の表示があります。

おしり・ふともも横エアーバッグを内側に倒し確認する

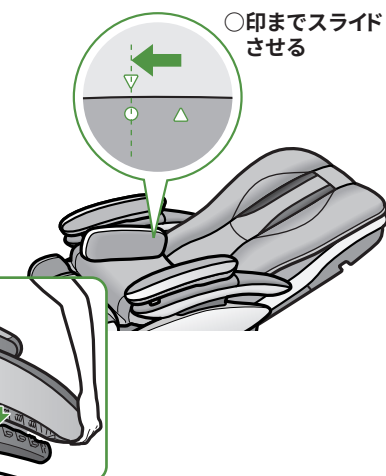


※接続ホース・エアープラグをはさまないように手で押さえてはめ込む

2 ひじ掛けを下方に押さえつけながら前方に「カチッ」と音がするまでスライドさせる

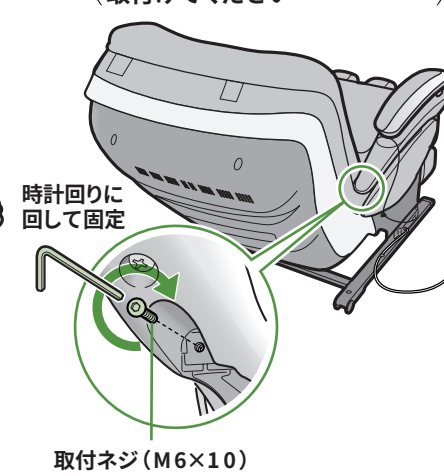
△印同士を合わせる

○印までスライドさせる



3 六角レンチを使ってしっかりと取付ネジでひじ掛けを固定する

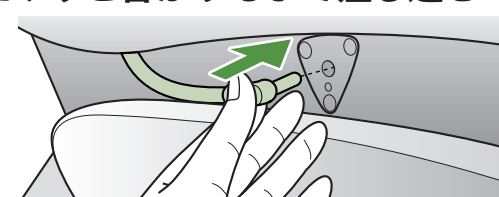
(反対側のひじ掛けも同じように、取付けてください)



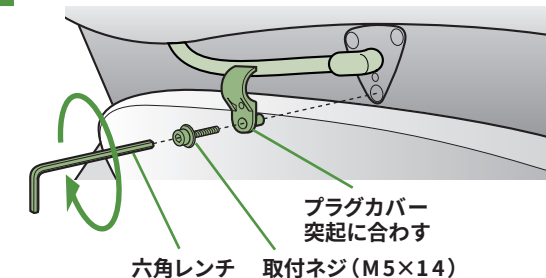
取付ネジ (M6×10)

エアープラグを本体に接続するには

1 エアープラグを手で持ち、本体にカチッと音がするまで差し込む



2 取付ネジで固定する



プラグカバー突起に合わす

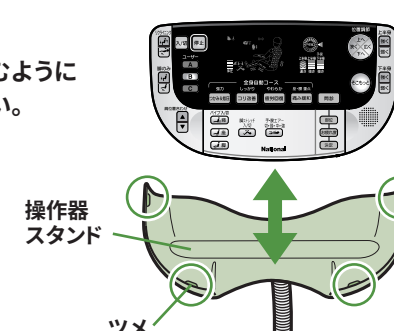
六角レンチ 取付ネジ (M5×14)

(反対側も同じように取付けてください。)

操作器の置き方・はずし方

置くとき

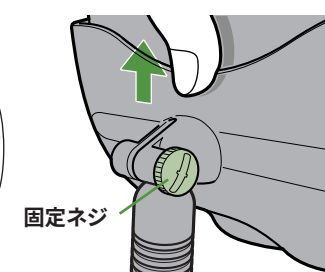
上から差し込むように置いてください。



はずすとき

上に引き上げてください。

(はずしにくいときは操作器スタンド裏を押しながら引き上げてください。)



固定ネジ

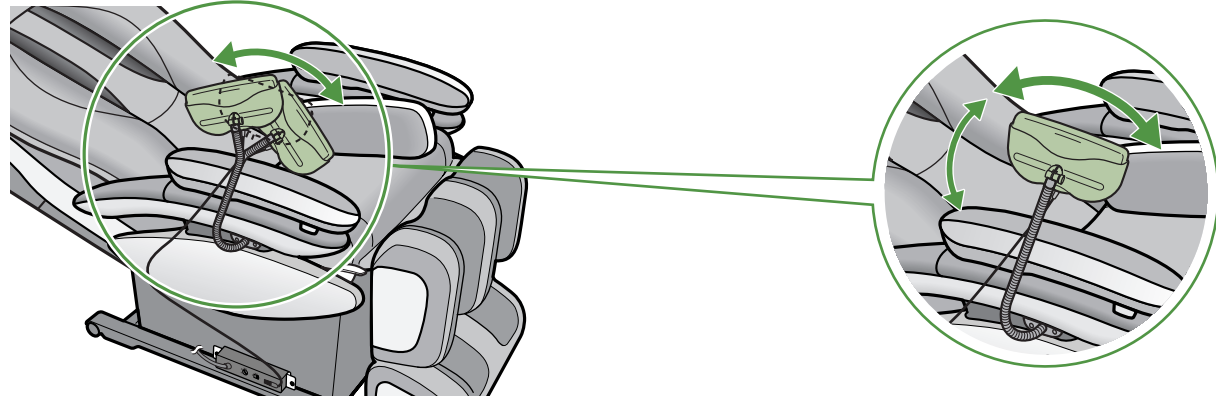
「使用前に」

箱から取出したあとの準備

毎回マッサージをはじめる前に

操作器スタンドを調節するには

- 1 操作器スタンドを前後方向に傾ける
- 2 操作器スタンドの向きを調節する



アースの取付けについて

電源コンセントにアース端子がある場合

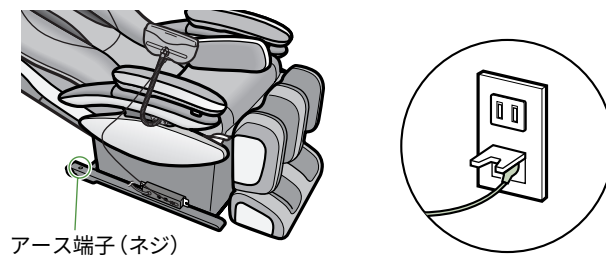
- お手持ちのアース線を、本体のアース端子(ネジ)と電源コンセントのアース端子に取付けてください。(アース線は付属していません)

電源コンセントにアース端子がない場合

- お買い上げの販売店、電気工事店に相談し、アース工事(D種<第三種>接地工事・有料)をしてください。

取付けてはいけないところ

- ガス管……………爆発や引火のおそれがあります。
- 電話線や避雷針…落雷の時、感電や発火のおそれがあります。
- 水道管……………途中がプラスチックの場合はアースになりません。



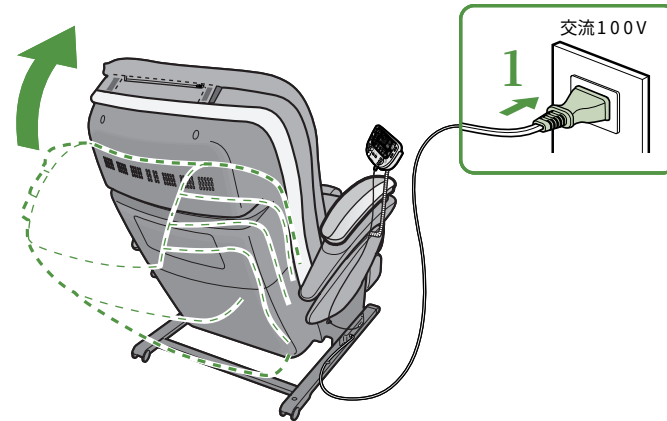
背もたれをおこす

1 電源を入れる

- プラグを差し込む。(交流100Vのコンセント)

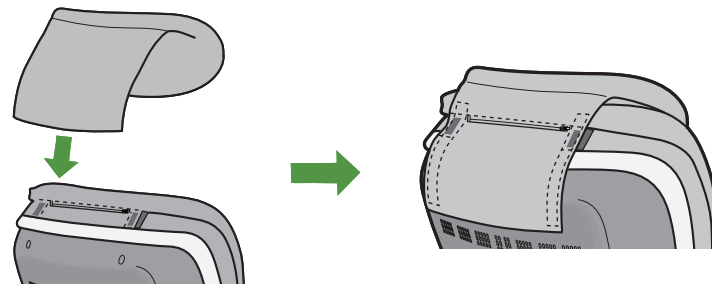
2 入/切を2回押す(P.8参照)

- 自動的に背もたれがおき上がります。
- もみ機構部が収納位置まで移動します。



枕を取付けるには

枕取付け面ファスナーに
枕を取付ける



確認してください

1 周囲を確認する

- ①椅子本体の周囲に人やペットがいないか、また、物が置いてあったりしないかを確認する。

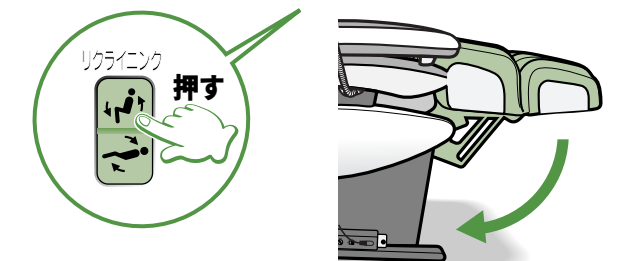
2 椅子を確認する

- ①背クッションを上げて、本体の布地に破れがないかどうか、また、背クッションなど他の布地にも破れがないかどうか確認する。
※破れている場合は、点検修理を依頼してください。(裏表紙参照)
- ②電源プラグがいたんだり、プラグにピンやゴミがついていないかどうか確認する。
- ③座前にもみ玉の位置を確認する。
 - もみ玉は通常、収納位置(背もたれの最下部に左右に広がって引込んだ状態)にあります。
 - もみ玉が収納位置にない場合は、入/切を2回押して収納位置にしてください。
 - 操作器を座面に置いたまま座らないでください。リクライニングボタンが押され、自動的にリクライニングしてしまうおそれがあります。
 - おしり・ふともも横エアバックの上に座らないでください。故障やけがの原因になるおそれがあります。
- ④おしり・ふともも横エアバックとひじ掛けの間に物がはさまっていないか確認する。
 - マッサージ中も手を入れないでください。
- ⑤ひじ掛け開閉部の中に物がはさまっていないか確認する。
 - ひじ掛け開閉部の上に物(飲み物など)を置かないでください。



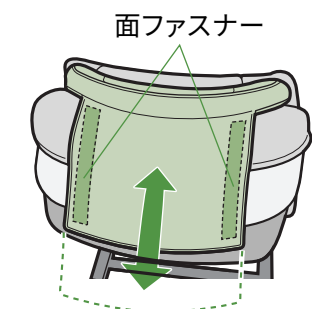
脚のせ台が下がった状態でお座りください

- 脚のせ台が上がっているときはリクライニングボタンを押して、脚のせ台を下げてからお座りください。
- 脚のせ台を上げた状態で座ると、脚のせ台と座部のつなぎ目にお尻があたったり、椅子が転倒してけがをするおそれがあります。



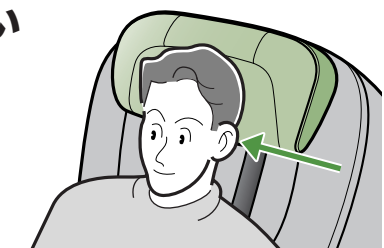
枕の高さを調節してください

- 面ファスナーで枕の高さを調節してください。



枕の先端は耳の位置を目安にセットしてください

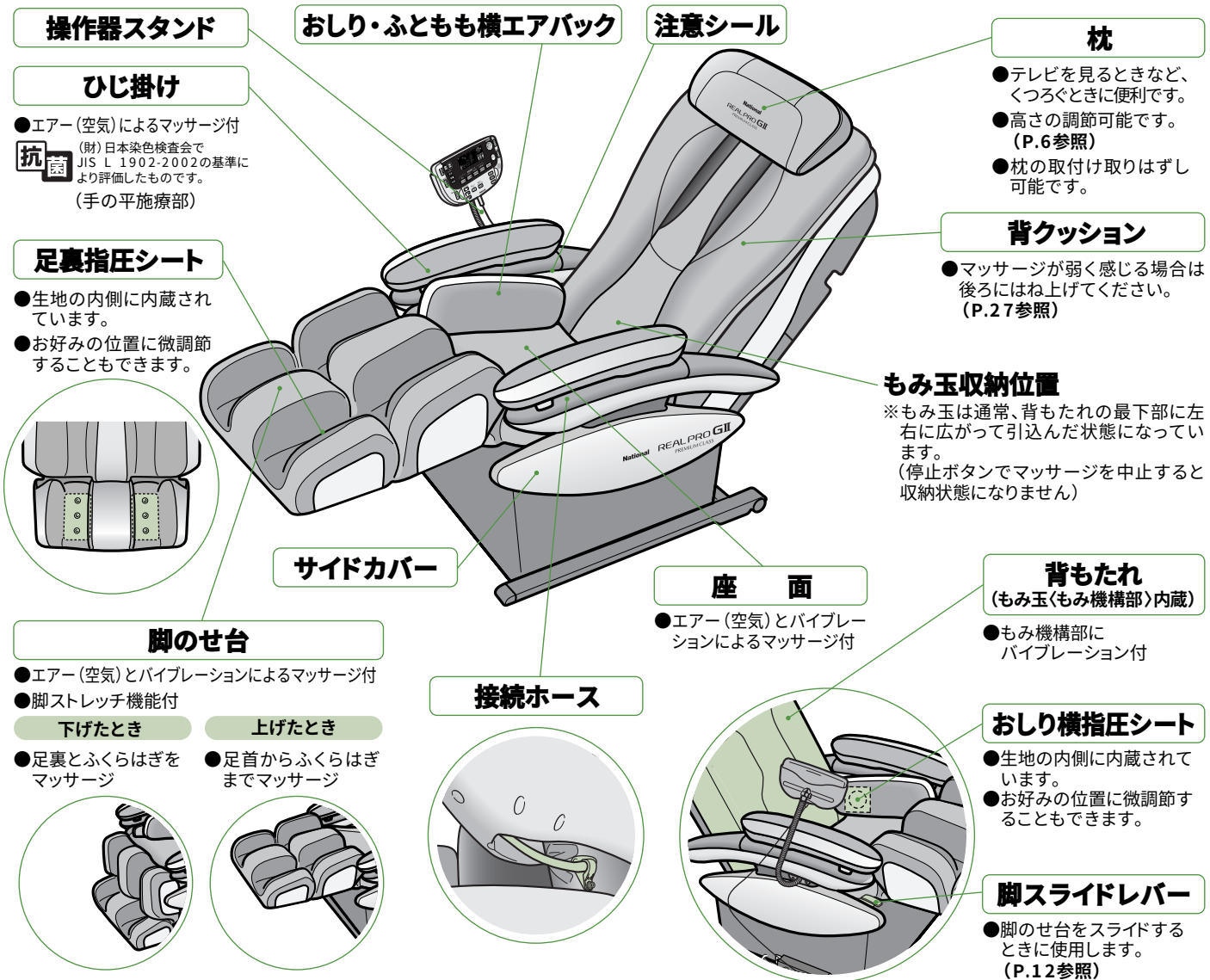
- 首周辺のマッサージの邪魔にならないように、後頭部を支えるように調節してください。



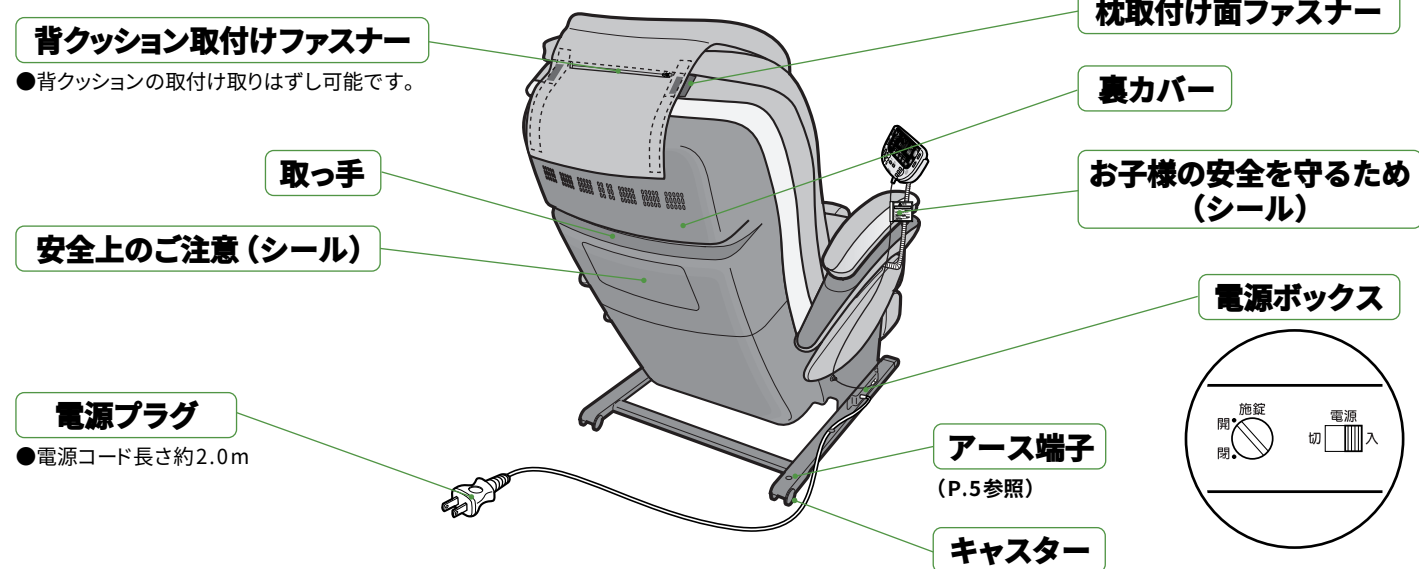
各部のなまえとはたらき

本体

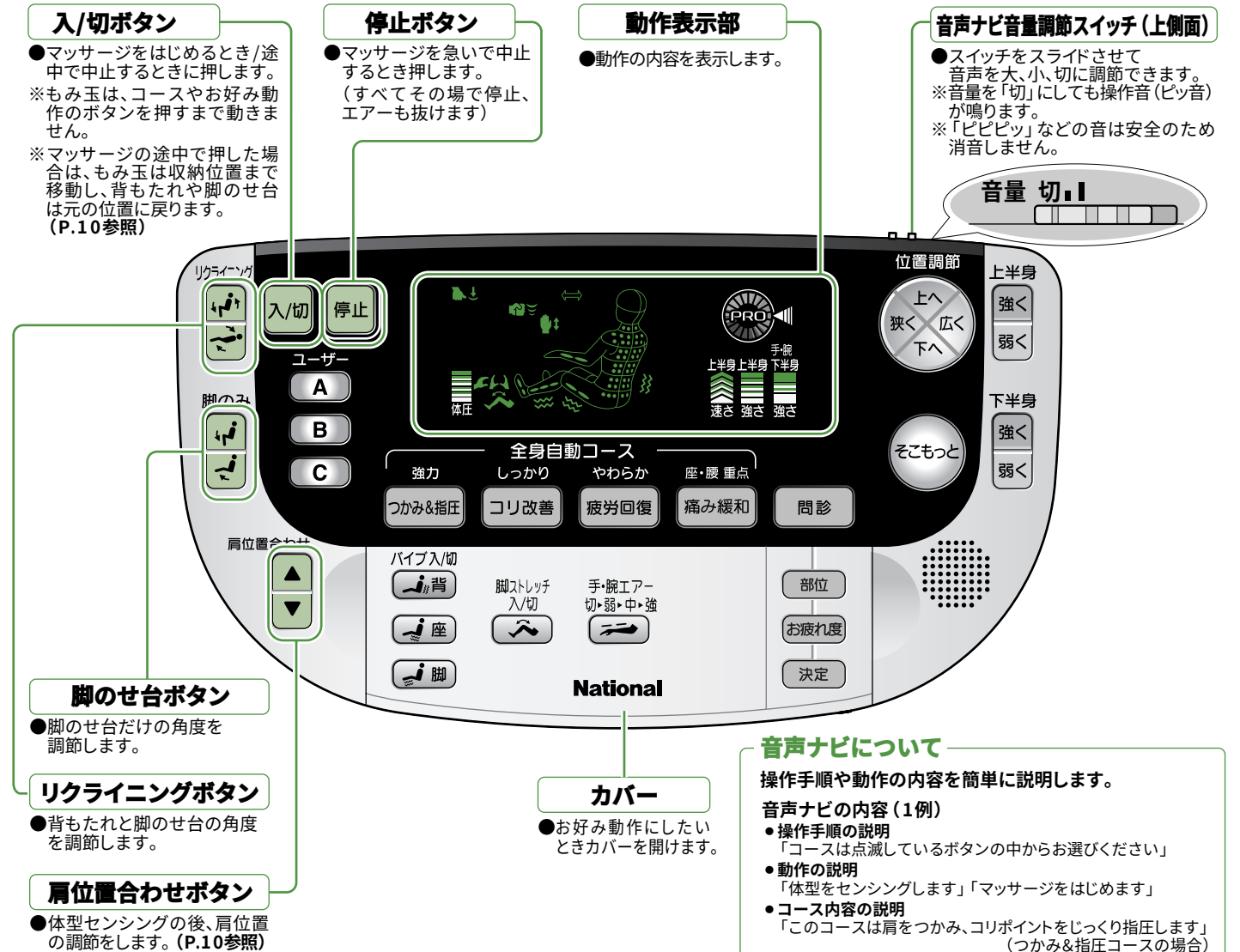
表側



裏側



操作器



すぐに使いたいときは

全身自動コース（P.9参照）

（こんな方におすすめ）
●全身に疲れがたまっている ●簡単に使いたい

お疲れ具合に合わせたマッサージをしたいときは

問診コース（P.13参照）

（こんな方におすすめ）
●体の場所によって疲れ具合が違う ●今日は「肩」と「脚」だけマッサージしたい

よりこまかく自分好みのマッサージをしたいときは

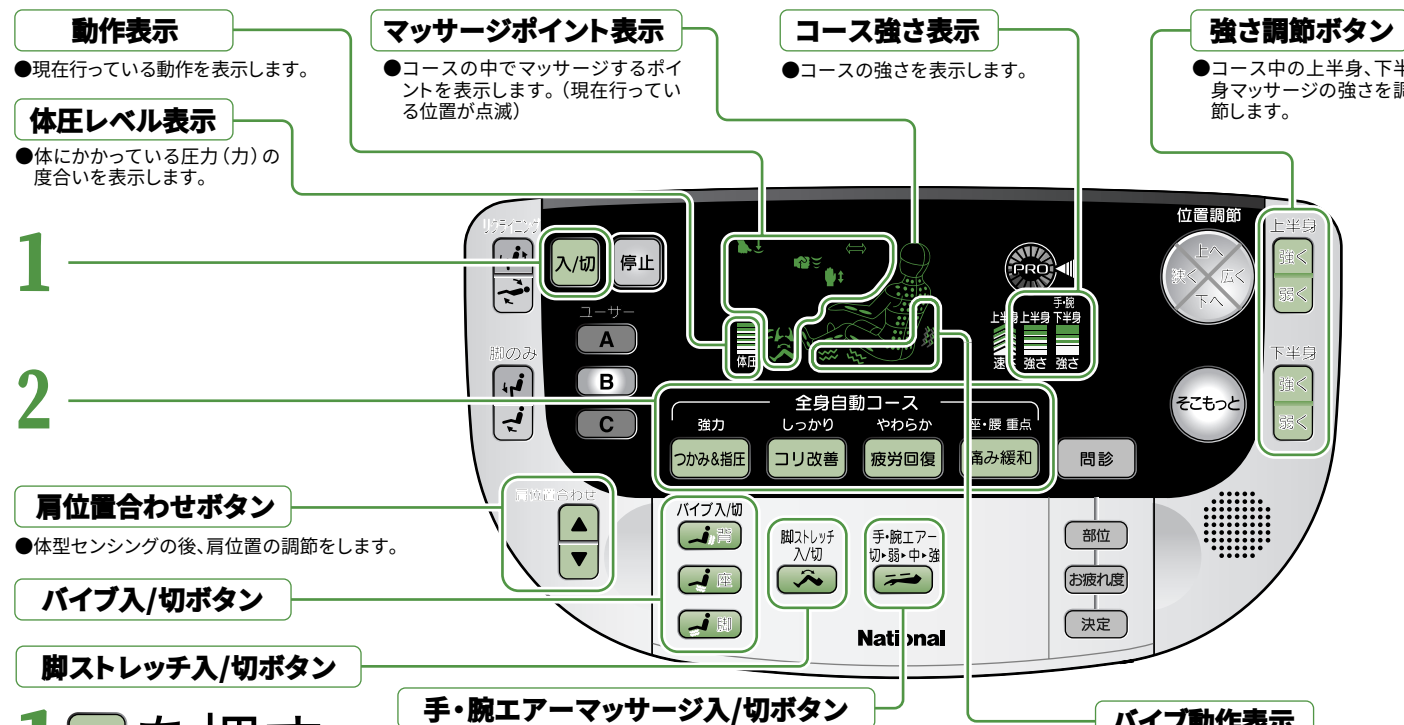
お好み動作（P.20参照）

（こんな方におすすめ）
●1つの動作で1箇所をじっくりマッサージしたい ●自分であれこれ調節しながらマッサージしたい
●仕上げに肩だけもうちょっとしたい

もっと自分に合わせたいときは

ユーザープログラム機能（P.17参照）

すぐに使いたいときは(全身自動コース)



1 入/切を押す

- 全身自動コースボタン(4つ)と問診コースボタンが点滅をはじめます。
- コースのボタンを押すまで、もみ玉は動きません。

2 お好みのコースのボタンを押す

- 点滅しているボタンから選んでください。
- プログラムのおおまかな内容は**全身自動コースの内容について(上半身)**(P.11参照)
- 途中で他のボタンを押すとそのボタンのコースに変更します。そのとき、下半身の強さ表示が数秒間、すぐに点灯しないことがあります。異常ではありません。

強力	つかみ&指圧	つかみと指圧を中心としたしっかりマッサージ コリがひどいときに	やわらか	疲労回復	ソフトなもみを中心としたマッサージ 疲れを取りたいときに
しっかり	コリ改善	もみを中心としたマッサージ 全身のコリほぐしに	座・腰 重点	痛み緩和	座腰付近を重点にほぐすマッサージ おしり・腰付近の疲労・痛み緩和に

3 椅子に深く腰かけ、頭を枕(背クッション、背もたれ)につけるようにゆったりともたれる

コースのボタンを押すと自動的にマッサージポジションになり**体型センシング(P.10参照)**がはじまります。

- 肩の位置でトントンというソフトたたき動作がはじまったら、必ず肩位置を確認し、合っていない場合は調節してください。(P.10参照)
- 正しく体型センシングできる身長目安は約140~約185cmの範囲です。(P.28参照)

体型センシング終了後、マッサージがはじまります。

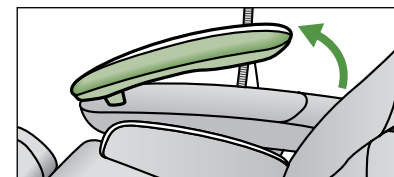
- 下半身のエアーマッサージは、体型センシングと同時にはじまります。
- お好みに合わせて、背もたれや脚のせ台の角度を調節することができます。(P.12参照)
- ひざやふくらはぎが浮いてしまうときは、脚のせ台をスライドさせて位置を調節してください。(P.12参照)
- 手・腕のエアーマッサージ、脚ストレッチが自動コース内で動作します。(P.10参照)



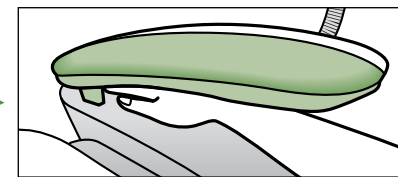
- マッサージポジションより深く倒れている場合は、自動リクライニングしません。(P.27参照)

●手のマッサージの使い方

① ひじ掛け開閉部を開き



② 指を曲げずに手を入れる



手・腕の位置

ひじ掛けの中心に手・腕を置く
手を深く入れるとひじ付近もマッサージします(ひじ付近のマッサージがしにくい場合は、背もたれを起こすとマッサージしやすくなります。)

4 マッサージ終了後 自動的に停止

所定のプログラムが終了すると自動的に停止します。(約15分)

- 自動的に停止した場合は、背もたれと脚のせ台は元にもどりません。
- 椅子を自動復帰したい場合は、**入/切**を2回押してください。

ただちに停止したいときは

- 停止**を押します。
 - 全ての動作がその場で停止します。
 - 停止状態でもみ玉を収納位置に戻すには、**入/切**を2回押してください。
- ※コース終了時、ユーザープログラム機能についての音声ナビと点滅表示が出ます。(P.17~P.19参照)

途中で終了したいときは

- 入/切**を押します。
 - 自動的に脚のせ台が下がり、同時にもみ玉が収納位置まで移動します。
- もみ玉が停止後、背もたれがおき上がります。

●上半身のマッサージの強さを調節したいとき



を押して調節してください。

●手・腕のマッサージの強さを調節したい・切りたいとき



を押して調節してください。

●下半身のマッサージの強さを調節したい・切りたいとき



を押して調節してください。

●パイプを切りたいとき



切りたい部位を選び押してください。(再度押すとはじまります)

●体型センシング*の流れ(肩位置を調節したいとき)

*センシング…測定動作のこと

- 背すじにそってもみ玉が首の後付近まで上昇し、肩位置まで下がってきます。
- 肩位置が合っていない場合には再度上昇し、肩位置を合わせる動作をくり返します。
- 肩の位置でソフトたたきが(約10秒)はじまります。



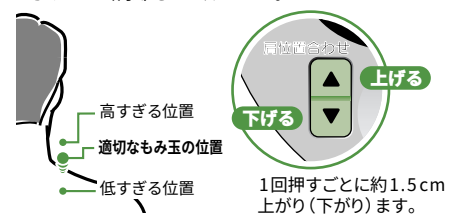
- 人が座っていないときや、しっかり体型センシングできなかったときは、「マッサージを終了します。」という音声流れ、動作が終了します。椅子に深く腰かけ、頭を枕につけるようにゆったりともたれ、再度**入/切**を押して、はじめてください。(P.9参照)
 - マッサージ中に人が替わる場合は、肩位置が変わるため一度**入/切**を押してマッサージを終了してから再度はじめてください。
 - 肩の位置でソフトたたきをせず数秒停止したときは、一番高い位置を体型センシングした場合です。
- 肩位置を調節したいときはマッサージがはじまってから行ってください。

●脚ストレッチを切りたいとき



を押してください。(再度押すとはじまります)

左記のソフトたたき中に肩位置合わせボタンで調節してください。



肩にもみ玉の下部が軽くさわる程度に合わせてください。



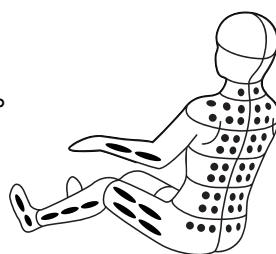
すぐに使いたいとき (全身自動コース)

椅子を調節する

情報

マッサージポイント表示について

動作表示部のマッサージポイント表示と実際に感じる場所は、ずれることがあります。
※動作表示部は表示の大きさの都合上、位置についてはおおまかな表示になっています。
そのため表示と実際の感覚とは若干のずれが発生します。



体圧レベル表示について

体にかかっている力(もみ玉にかかる力)を常に表示しています。

- 実際に感じる強さ加減と異なっている場合があります。
- 人が座っていない状態でも、背もたれの布などの影響で、レベル表示が変わることがあります。

体圧フィードバック機能について

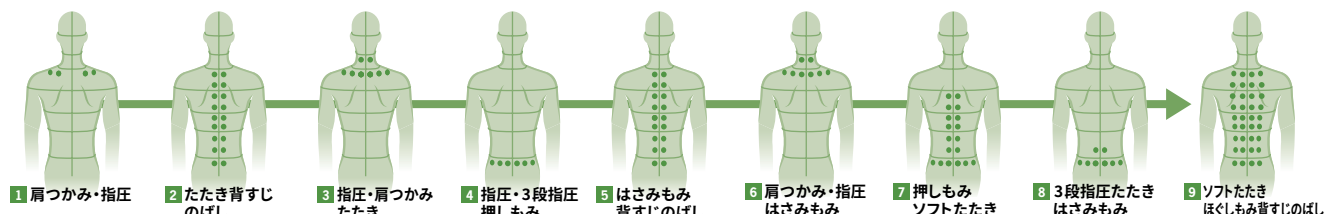
体にかかる力(体圧レベル)が強すぎたり、弱すぎたりした場合に自動的に強さを調節します。
●コースの強さに応じて、体圧レベルの基準値が変わります。



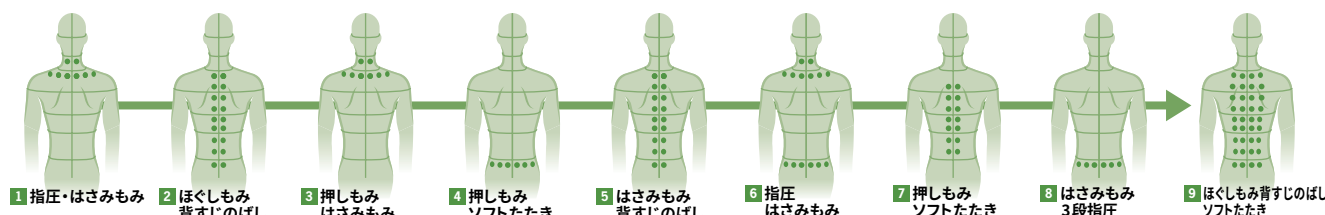
全身自動コースの内容について(上半身)

- 下半身の内容はP.23参照。
- 図は、本来の動作を分かりやすく説明するため省略してあります。

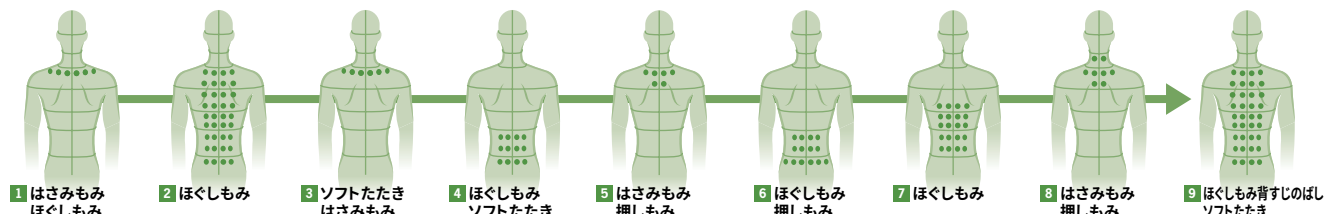
強力 つかみ&指圧コース



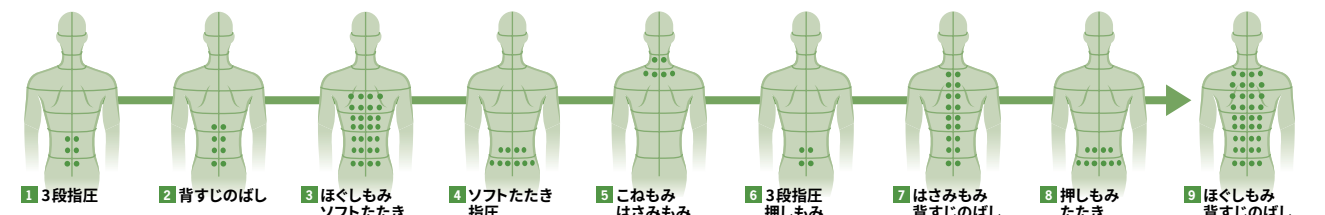
しっかり コリ改善コース



やわらか 疲労回復コース



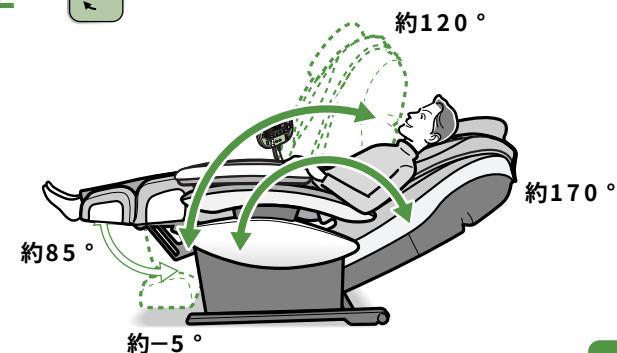
座・腰重点 痛み緩和コース



リクライニングするには

1 お好みの位置になるまで を押しつつける

- ボタンを押している間、背もたれが倒れ、同時に脚のせ台が上がります。
- 脚のせ台は少し遅れて動き出します。
- 背もたれと脚のせ台はそれぞれ限界点に達しますと「ピピピッ」と音が鳴ります。
- 背もたれと脚のせ台では限界点に達するまでの時間が異なります。



2 お好みの位置で から指を離す

- 倒れ過ぎたときは を押して戻してください。
- 使いはじめはリクライニングを深く倒さないでください。(刺激が強くなるため)

リクライニングを戻す場合

を押し続ける。

- 背もたれと脚のせ台はそれぞれ限界点に達しますと「ピピピッ」と音が鳴ります。

脚のせ台だけを上げ下げする

脚のせ台を上げるとき

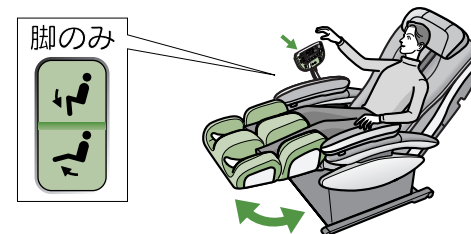
を押している間、脚のせ台が上がります。

- 限界点に達しますと「ピピピッ」と音が鳴ります。

脚のせ台を下げるとき

を押している間、脚のせ台下がります。

- 限界点に達しますと「ピピピッ」と音が鳴ります。
- 脚のせ台のスライドを一番手前にしてから下げてください(下記参照)。床にあたります。



脚のせ台をスライドさせる

1 脚スライドレバーを引きながら 脚のせ台をお好みの位置に スライドさせる(脚のせ台スライド量:約7cm)



脚スライドレバー

- 戻すときは脚スライドレバーを引いてください。バネの力で戻ります。(少し脚を浮かしぎみにしてください) 戻りにくい場合は手で脚のせ台を引き上げてください。
- ※脚のせ台収納位置ではスライドすることはできません。

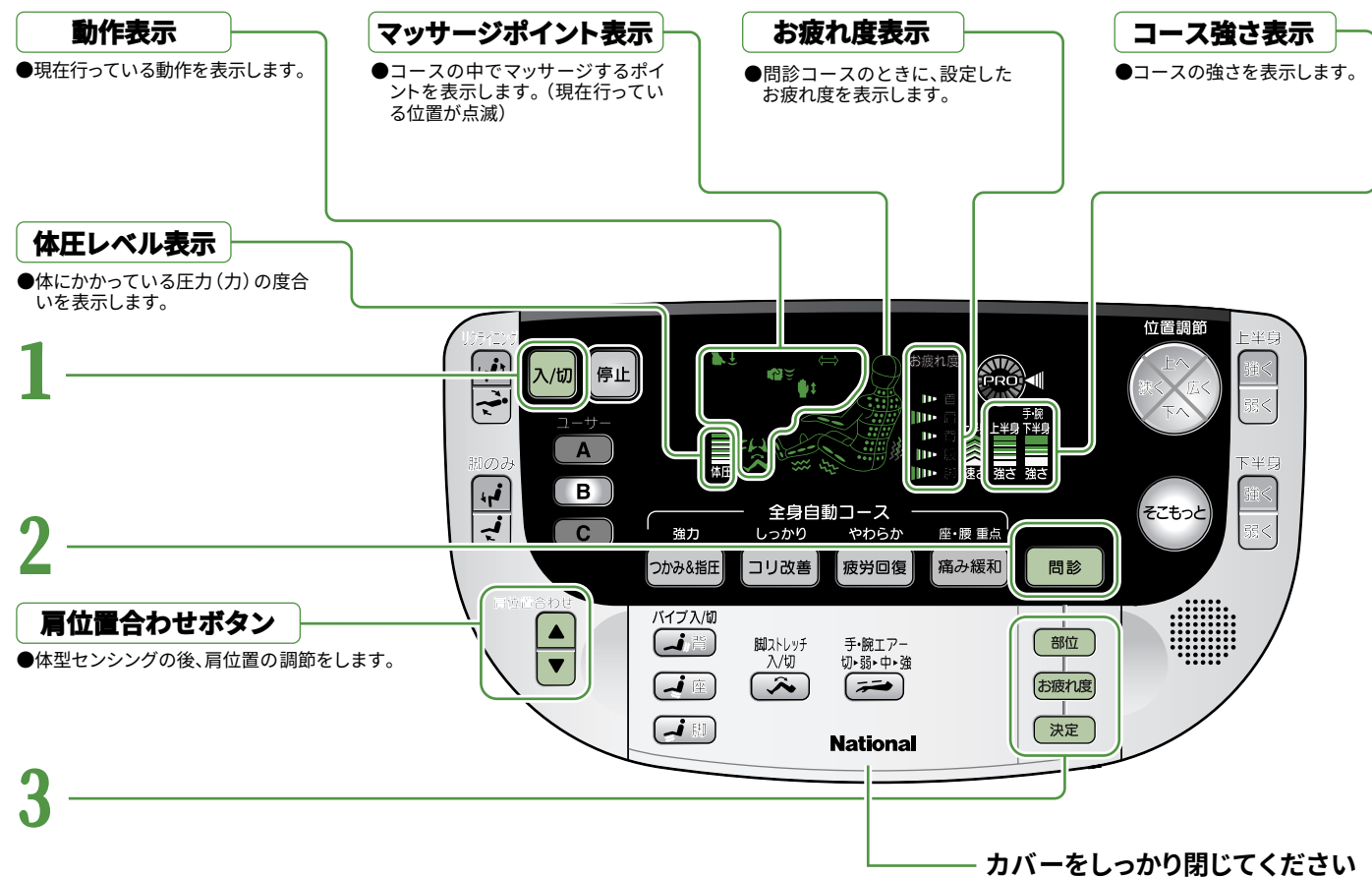
2 脚スライドレバーをはなす



脚スライドレバー

ロックがかかり 固定されます。

お疲れ具合に合わせたマッサージをしたいときは(問診コース)



1 入/切を押す

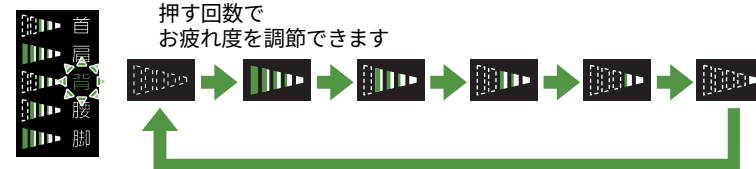
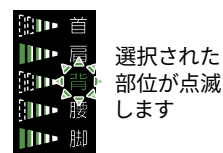
- 全身自動コースボタン(4つ)と問診コースボタンが点滅をはじめます。

2 問診を押す

- 動作表示部のお疲れ度表示(文字部分)の首の部位が点滅します。
 - プログラムのおおまかな内容はP.16参照。
 - 決定ボタンを押すまで、もみ玉は動きません。
- ※操作器のカバーがしっかりと閉まっていないと問診コースが選択できません。

3 「お疲れ度」を設定する

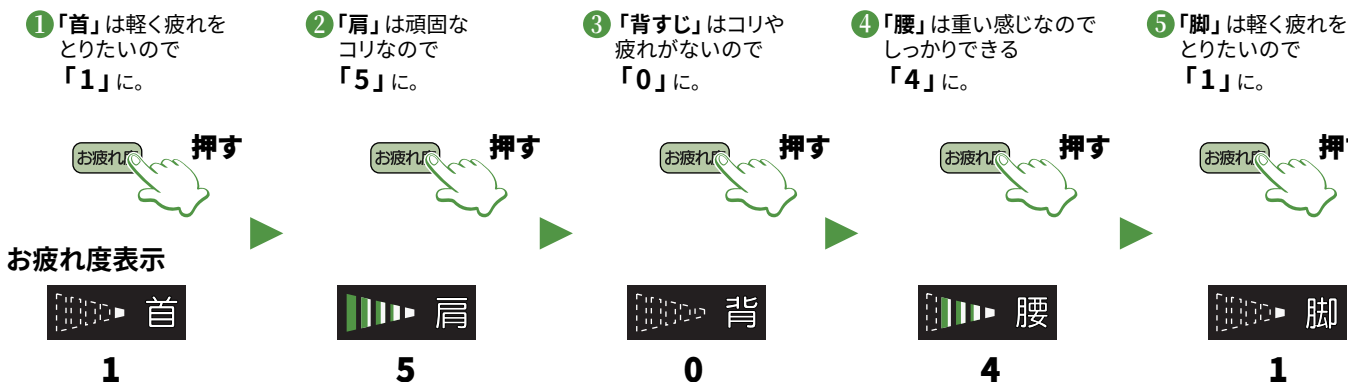
- 1 **部位**を押して、設定したい部位を選択
- 2 **お疲れ度**を押して、お疲れ度を設定



- 3 上記の1、2をくり返し全ての部位が設定しおわったら **決定**を押す
- お疲れ度合いにあったプログラムを作成します。

問診コースの使用例

「今日は「肩」と「腰」だけ疲れている感じなのでそこだけを重点的にマッサージしたい」



4 椅子に深く腰かけ、頭を枕(背クッション、背もたれ)につけるようにゆったりともたれる

決定を押すと自動的にマッサージポジション(P.9参照)になり、体型センシング(P.10参照)がはじまります。

- 肩の位置でトントンというソフトたたき動作がはじまったら、必ず肩位置を確認し、合っていない場合は調節してください。(P.10参照)

体型センシング終了後、マッサージがはじまります。

- 下半身のエアーマッサージは、体型センシングと同時にはじまります。(脚が選択されていないときは、エアーマッサージははじまりません)
- お好みに合わせて、背もたれや脚のせ台の角度を調節することができます。(P.12参照)
- ひざやふくらはぎが浮いてしまうときは、脚のせ台をスライドさせて位置を調節してください。(P.12参照)
- 手・腕マッサージも動作します。(P.10参照)
- 脚ストレッチも動作します。(P.10参照)

5 マッサージ終了後自動的に停止

所定のプログラムが終了すると自動的に停止します。(約15分)

- 途中で終了したいときは**入/切**、ただちに停止したいときは**停止**を押してください。(P.10参照)
- ※コース終了時、ユーザープログラム機能についての音声ナビと の点滅表示が出ます。(P.17～P.19参照)

お疲れ具合に合わせたマッサージをしたいときは(問診コース)

途中でお疲れ度の設定を変えたいときは

- 設定を変えたい部位を選択し変更した後、**決定** を押してください。
- コース途中でもプログラムを変更できます。

- ① **部位** を押して
変えたい部位を選択
- ② **お疲れ度** を押して、
お疲れ度を入力する
- ③ 設定を変えたいボタンを押して変更した後
決定 を押す



情報

マッサージの順番は、お疲れ度の大きい順に動作します。

- お疲れ度が同じ場合は、首→肩→背すじ→腰の順にマッサージしていきます。
- お疲れ度が **0** の場所はマッサージしません。
ただし、次の場所へ移動する際に通過していくことがあります。
- 首～腰のお疲れ度が **0** のときは、上半身マッサージはしません。
(手・腕エアーマッサージは動作します)
- 脚のお疲れ度が **0** のときは、下半身マッサージはしません。

お疲れ度の設定は、マッサージの強さの設定ではありません。

- ※お疲れ度の情報に基づいて、マッサージの動作や時間を設定しており、プログラムを作成するための情報になります。
- マッサージの強さを調節したいときは、コース強さボタンで調節してください。(P.10参照)
- ※ただし問診コースの場合は、下半身のマッサージの強さが0にはなりません。
- 首・肩・背・腰において3箇所を0としたとき、残り1箇所を集中的にマッサージできます。

(例)

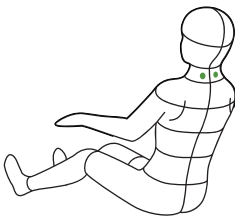
	首	— 3番目
	肩	— 1番目
	背	— マッサージしません
	腰	— 2番目
	脚	— 常に動作

情報

問診コースの内容について

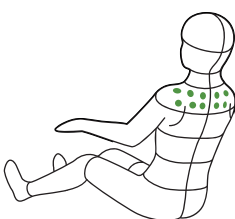
※本来の動作を分かりやすくするためにおおまかに説明しています。

首のこり・疲れ



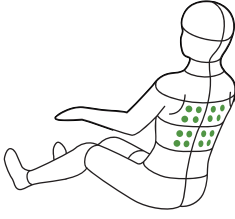
- お疲れ度
- 3** はさみもみで首周辺を広くほぐし、こねもみ、たたきで重いコリや疲れをしっかりほぐします。
 - 2** はさみもみで首周辺をほぐした後、たたきやはさみもみでほぐしていきます。
 - 1** はさみもみで首周辺をほぐした後、主にソフトたたきとこねもみで仕上げます。
 - 0** ソフトたたきとはさみもみでじっくりほぐします。
 - 0** 主にソフトたたきで首周辺をほぐします。

肩のこり・疲れ



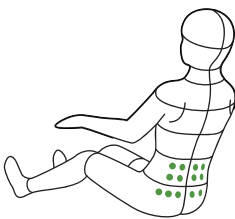
- お疲れ度
- 3** 肩つかみとたたきと指圧で肩の上をほぐした後、肩甲骨に沿ってもみ動作でしっかりマッサージします。
 - 2** 主に肩つかみと指圧で肩の上をほぐした後、肩の周辺を広くこねもみ、押しもみでほぐします。
 - 1** 主にソフトたたきとたたきで肩の上をほぐした後、肩の周辺を指圧、はさみもみで仕上げます。
 - 0** 主にもみとソフトたたきで肩周辺をほぐします。
 - 0** 主にソフトたたきでソフトにほぐします。

背すじの疲れ



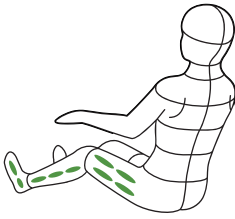
- お疲れ度
- 3** はさみもみでほぐし、3段指圧で背すじをのばし、さらに押しもみ、はさみもみ、こねもみでほぐします。
 - 2** はさみもみでほぐし、3段指圧で背すじをのばし、押しもみ、はさみもみでほぐします。
 - 1** 背すじに沿ってはさみもみ、押しもみでほぐしていきます。
 - 0** ソフトたたきでほぐした後、はさみもみ、押しもみでほぐしていきます。
 - 0** 主にソフトたたきとほぐしもみでまんべんなくほぐします。

腰の疲れ



- お疲れ度
- 3** はさみもみ、3段指圧、たたきで腰周辺を広くほぐし、その動作を繰り返ししっかりほぐします。
 - 2** はさみもみ、3段指圧、押しもみで腰周辺を広くほぐしていきます。
 - 1** はさみもみ、ほぐしもみに加えリズムたたきでほぐします。たたき動作もみ動作でほぐします。
 - 0** ソフトたたきでほぐした後、はさみもみとソフトたたきでほぐします。
 - 0** 主にソフトたたきとほぐしもみでまんべんなくほぐします。

脚・足裏・おしりの疲れ

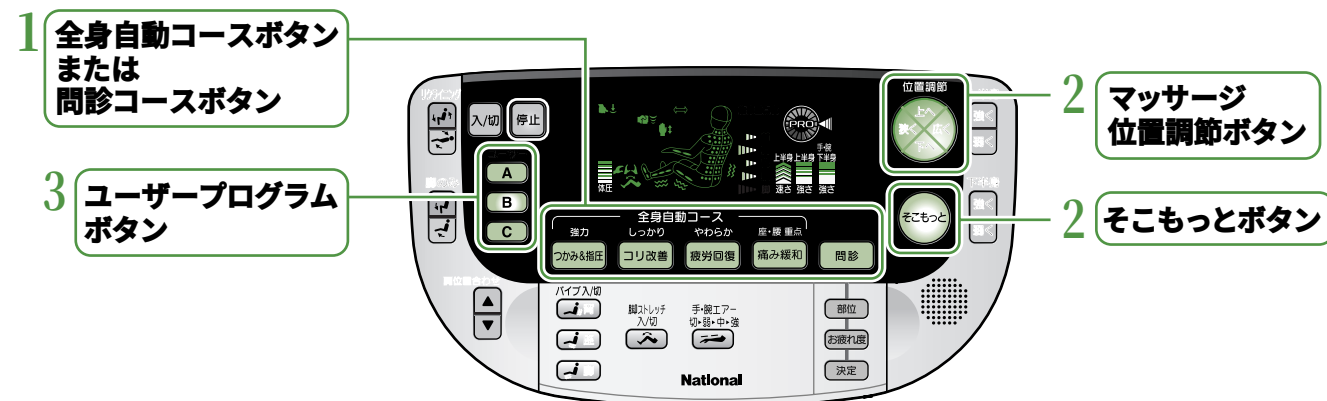


- お疲れ度
- 3** 重く感じるポイントをリズムのよいつかみ圧迫動作で繰り返しほぐし、さらにじっくり圧迫動作で全体を引き締めます。
 - 2** つかみ圧迫動作でほぐした後、じっくり圧迫動作を繰り返します。
 - 1** つかみ圧迫動作とじっくり圧迫動作でほぐした後、さするような圧迫動作で少し仕上げます。
 - 0** つかみ圧迫動作とじっくり圧迫動作で少しほぐした後、さするような圧迫動作を繰り返します。
 - 0** さするような圧迫動作でなめらかにほぐします。

使いかた

もっと自分に合わせたいときは(ユーザープログラム機能)

ユーザープログラム機能を使うと、より自分にあった上半身のマッサージをすることができます。
使うほどにあなたに合った心地よいコースになります。



コースを自分好みに進化させるには

- 1 P.9～P.16の手順にしたがって好きなコース(全身自動コース、問診コース)をはじめる
- 2 コース中に自分好みに調節する

「自分好みに調節する」の内容はP.19を参照。

気持ちいい場所のマッサージを増やすには

 を押して増やす。

-  のいずれかが表示されている間は操作できません。
- コース中、気持ちいいと思ったとき、その動作の最中に押してください。
-  が点滅動作し施療重点度が点滅します。
- その動作をもう一度繰り返します。
- 気持ちいい場所、その動作は記憶され、コース全体の中でその記憶内容が増えるようにプログラムを変更します。
- 問診コースのときは、使えません。

マッサージしているポイントをより気持ちいい場所に微調節するには

 を押して位置調節する。

- コース中、気持ちいい場所が少しずれているときに押してください。
-  が点滅動作します。
- マッサージしている場所を移動します。
- 位置調節した位置は記憶され、コース全体の中でその場所のマッサージをするときに移動します。
- ボタンを押して「ピピピッ」音が鳴るときは、押された方向への位置調節はできません。(P.19参照)

3 調節した内容を登録する

- ① コース終了後、または  を押して、もみ玉が収納位置に移動した後  が点滅します。
 が点滅します。
- ② 登録させたいボタンを選んで押してください。( が点滅動作している間(約15秒)に押してください)
- ③ 押したボタンだけが点滅し、 が点滅し更新完了します。

選んだボタンが速い点滅をはじめたとき

- すでに別のプログラムが登録されています。
- 前回のプログラムを消して新しいプログラムを更新する場合、もう一度同じボタンを押してください。
- 前回のプログラムを消したくない場合は、別のユーザープログラムボタンを押してください。
- 登録したくないときは、ユーザープログラムボタンを押さないでください。( を押してください)
- 登録中はリクライニングボタン、脚のせ台ボタン以外操作できません。

登録しているプログラムでマッサージするには

- 1  を押す
- 2 登録させた  を選び、押す

( を押さずに、ユーザープログラムボタンを直接押しても選択できます)

3 お好みのコースのボタンを押してマッサージをはじめる

前回と同じコースを選んだときは、登録した施療重点度を表示します。
また前回とは異なるコースを選ぶこともできます。

- 前回設定した体型かどうかの確認動作を行います。(このとき、体型センシング中表示・体型センシング音は出ません)
前回の体型と同じ場合は、すぐにマッサージがスタートし、座る位置の違いなどにより、違う体型と確認した場合は、通常の肩位置合わせ動作を行います。

さらに自分にあったプログラムにするには

P.17、P.18の「コースを自分好みに進化させるには」の手順で自分好みに調節し、
コース終了後に点灯している同じユーザープログラムボタンを押す

記憶している内容を消したいとき

- 工場出荷時に登録されている自動コースの内容に戻すことができます。
(1つ前に記憶した内容に戻すことはできません)

- ①  を押す
- ② 消したい  を選び押す
● 選んだボタンが点灯し、自動コース選択ボタンが点滅します。
- ③ もう一度同じボタンを       が消えるまで長く押す(約3秒以上)
● 選んだボタンが点滅に変わります。(約15秒間)
- ④ 同じボタンが点滅している間にもう一度押す
● データが消去され、ボタンは点灯に変わります。

もっと自分に合わせたいときは(ユーザープログラム機能)

よりこまかく自分好みのマッサージをしたいときは(お好み動作)

情報

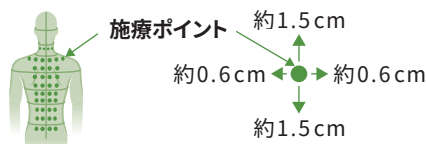
●プログラム変更の詳細内容

① そこもっとを押したとき

- いずれかが表示されている間は操作できません。
- 全体のコースの中でその場所のマッサージが増えるようにプログラムを変更します。
- 押されたときの動作をまず繰り返します。
- 押されたときと同じ場所で同じ動作でのマッサージコースの中で他にもあるときは、その動作も増やします。
- タイマー時間(約15分)は延長されません。
- 問診コースでは使えません。

② を押して位置調節したとき

- マッサージしているポイントの位置を微調節します。
- 個人差で少しずれていた施術ポイントを合わせられます。
- 微調節できる範囲は、各施術ポイントの中心から各1回ずつ、中心から上下にそれぞれ約1.5cm、左右にそれぞれ約0.6cmずつです。(ボタン各1回)



- 位置調節した位置は記憶され、コース全体の中でその場所のマッサージをするときは、自動的に移動します。
 - 位置調節した情報は各コースにも反映されます。
- (この情報は各ユーザープログラムボタンごとに記憶するため、他のユーザープログラムには影響しません)

●施術重点度表示

を押したときや、ユーザープログラム登録時に調節した結果を表示します。



- 次回マッサージする部位の時間割合が表示されます。
- レベルが大きいくほどマッサージする時間が多いことを示しています。
- レベル数は目安であり、必ずしも時間と比例しているわけではありません。

●ユーザープログラム機能の上手な使い分け方

- 全身自動コースは、プロのマッサージ師が目的に合わせて行う動作を参考にそれぞれ作られています。それに対してユーザープログラムは、この自動コースの基本的な動作を守りながら変更させる機能です。したがって、1回のマッサージ中に一部位(例えば肩だけ)を集中的にマッサージすることはできないようにしています。一部位を集中的にマッサージしたい場合には、問診コースかお好み動作をご利用ください。

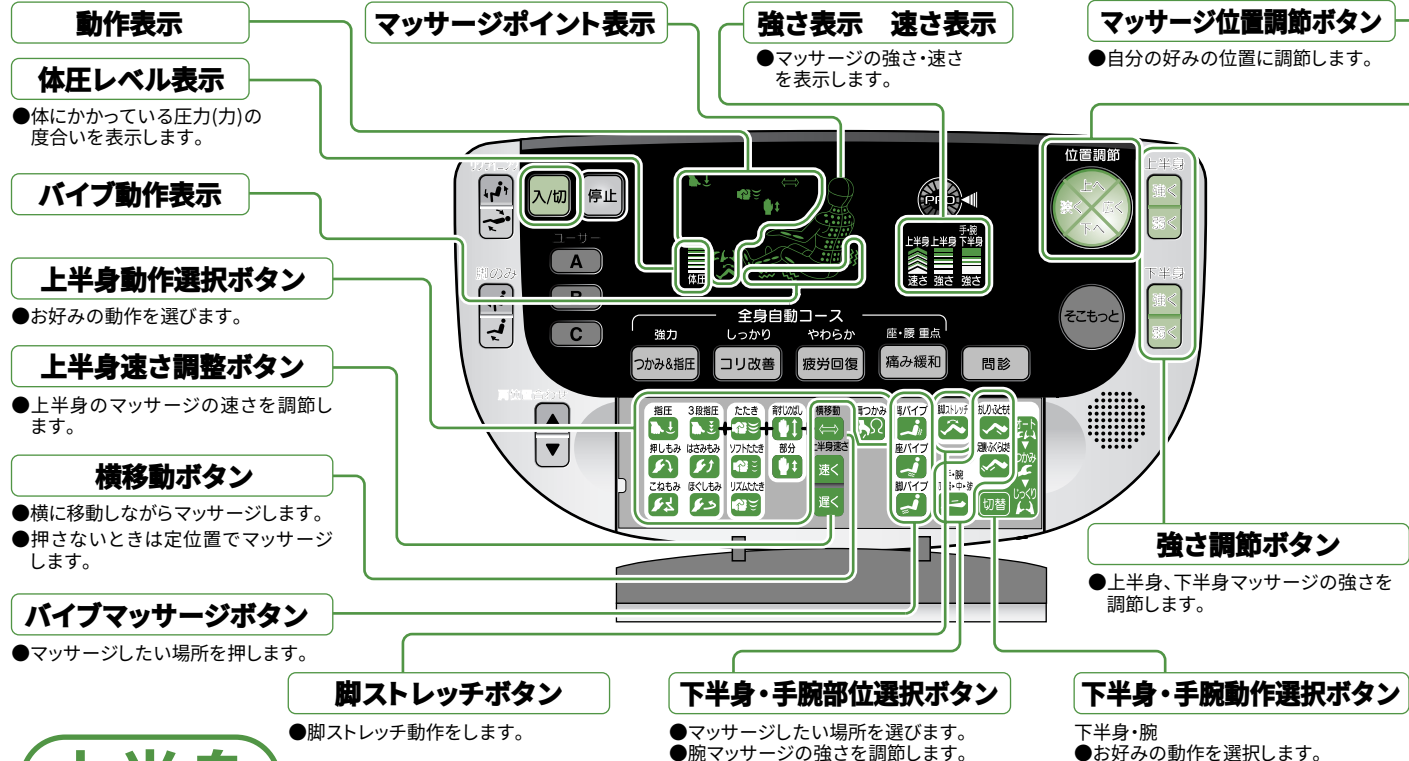
●記憶できる内容、記憶できない内容

〈記憶できる内容〉

- ユーザープログラムボタンごとにそれぞれ自動コース(全身・問診)を各5コース記憶できます。
- (全身自動コースの動作内容
・問診コースのお疲れ度の前回入力データ)
- 体型データ(ユーザープログラムボタンを押して、マッサージをはじめるときは、このデータをもとに体型センシングを行い、マッサージをはじめます)

〈記憶できない内容〉

- お好み動作マッサージ。
- 椅子の調節。(リクライニングの角度・脚のせ台の角度)
- 下半身マッサージ、腕のマッサージ、脚ストレッチ。
- 自動コースからお好み動作に変更した場合。
- 全身自動コースの強弱設定値。
- 停止にて終了した場合。
- 自動コースのパイプ機能。(有・無)



上半身

- 1 を押す
- 2 カバーを開ける
- 3 お好みの動作を選ぶ
(上半身動作選択ボタンを押す)

椅子に深く腰かけ、頭を枕(背クッション、背もたれ)につけるようにゆったりともたれてください。

- を押すと肩位置を確認するため、体型センシングをしてから動作がはじまります。(肩位置調節もできます)
- 押した動作のマークが動作表示部に表示されます。
- 肩の位置でトントンというソフトたたき動作がはじまったら、必ず肩位置を確認し、合っていない場合は調節してください。(P.10参照)

複数の動作を組み合わせることもできます

- 組み合わせたい動作のボタンを押してください。

(例) 「指圧」と「たたき」と「背すじのぼし」を組み合わせる場合

- 1 を押す
- 2 を押す
- 3 を押す

※押す順番は関係ありません。

- 拡大図の枠で囲まれているグループ内の動作は組み合わせることができません。
- (例: 「指圧」と「ほぐしもみ」、「たたき」と「ソフトたたき」など)
- 肩つかみは、パイプとだけ組み合わせられます。

動作をやめる場合は

- やめたい動作のボタンを再度押してください。(他の動作を選択しているとき可能です)

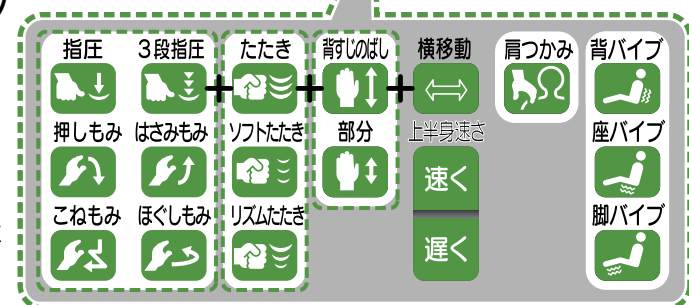
(例) 上記の状態から「背すじのぼし」をやめたい場合

- 1 を押す

このときの動作表示は

- 「背すじのぼし」が消えます。

カバーを開ける



このときの動作表示は

- 押した動作のマークが全て表示されます。

このときの動作表示は

- 「背すじのぼし」が消えます。

よりこまかく自分好みのマッサージをしたいときは(お好み動作)

4より自分好みに調節する もみ玉の高さや間隔、速さや強さを調節できます

位置調節するには



を押す

- 好みの位置になるまで何回か押してください。
- 1度押すと上下方向に約1.5cm、横方向に約0.6cm移動します。
- 上下方向は長押しするとボタンを離すまで移動します。
- 限界点に達すると「ビビピッ」と音が鳴ります。
- 一部の場所では強さを自動的に弱める場合があります。(P.22参照)
- 動作表示部でおおよその位置を表示します。
- ボタンを押されても、すぐに切り換わらない場合があります。

速さを調節するには



を押す

- 好みの速さになるまで何回か押してください。
- 限界点になりますと「ビビピッ」と音が鳴ります。
- 肩つかみとパイプでは調節できません。
- 動作表示部に速さの度合(5段階)を表示します。

強さを調節するには



を押す

- 好みの強さになるまで何回か押してください。
- 限界点になりますと「ビビピッ」と音が鳴ります。
- パイプは調節できません。(パイプの強さは変わりません)
- 一部の場所では強さが最大レベル「5」にならない場所があります。(P.22参照)
- 動作表示部に強さの度合(5段階)を表示します。
- 肩つかみの調節はエア圧だけの調節となり、5段階に調節できます。
- ボタンを押されても、すぐに切り換わらない場合があります。

横移動を組み合わせたときは



を押す

- 押された位置で、横に自動反復しながらマッサージをします。
- 動作表示部に横移動のアイコンが点灯します。
- 一部の場所では強さを自動的に弱める場合があります。(P.22参照)
- 肩つかみとパイプには組み合わせることができません。
- やめたいときには再度押してください。



5自動的にマッサージ終了

- 収納位置まで移動してから停止します。
- マッサージを開始してから約15分で自動的に終了します。
- 続けてご使用の場合は、10分以上休憩することをおすすめします。
- 途中で終了したいときは[入切]、ただちに停止したいときは[停止]を押してください。(P.10参照)
- ※「肩つかみ」や「背すじのぼし」の動作をさせて終了したとき、ユーザープログラム機能についての音声ナビと点滅表示が出ます。この場合、ユーザープログラムボタンを押して登録すると体型データだけを登録します。(お好み動作マッサージの内容は登録しません)

基本動作の種類と動きについて(上半身)



指圧

両手の親指で、コリのポイントを「ジワッ」と押していく感覚です。押したところで一旦停止することにより、本格的な「指圧」の感覚を再現しています。



3段階指圧

コリのポイントを「グ、グ、グー」と3段階に分けて徐々に強く指圧します。



押しもみ

「グイッ」と外側へ押し込むように硬くなった筋肉をほぐすもみです。肩の外側で肩甲骨のまわり及び、腰のコリに効果的です。



はさみもみ

「グイッ」と押し、「クッ」としめ「スー」とひく微妙なリズムでこった筋肉をはさみ上げるようなもみです。首や背すじにおすすめです。



こねもみ

コリのポイントを、こねるように反転しながら「グイッ」「グイッ」ともみこんでいきます。



ほぐしもみ

手のひらで体の両側からはさんだりさったりするような感覚で幅広くもみほぐします。背中や腰など幅広いマッサージにおすすめします。



たたき

こぶしのような感覚で「トントン」とたたき、心地よくコリや疲れをほぐします。



ソフトたたき

左右交互にリズムカルにコリのポイントをソフトにたたき動作です。



リズムたたき

ゆっくりとしたたたき動作と軽快なたたき動作を交互に行い、心地よく筋肉をほぐします。



背すじのぼし

もみ玉がローラーとなり、首から腰まで背すじを自動上下してコリの部分を連続してマッサージするとともに、背すじを「グイッ」とのぼし、背すじの緊張をやわらげます。



部分

背すじを部分的に上下して、こっている部分を集中的にマッサージすることができます。



肩つかみ

肩の筋肉を真上から「グー」と押さえながら後ろから「ジワッ」と指圧します。2カ所の刺激により、がんこな肩こりをつかむようにほぐしていきます。(P.22参照)



背パイプ

細かい振動で緊張した体をリラックスさせます。背すじのぼしなどを組み合わせて全身のマッサージにおすすめします。

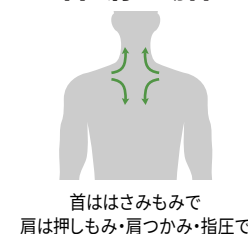
情報

●上手なマッサージの手順例

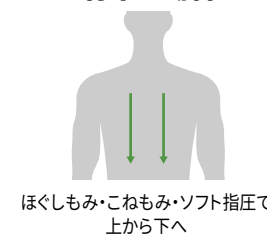
- 1 体をなじませるため、はじめは「背すじのぼし」。
- 2 次にコリの部分を中心に周辺をもみやたたきでマッサージ。
- 3 仕上げには「背すじのぼし」で、もみほぐした後の緊張をやわらげます。

●部位ごとの上手なマッサージの動作例

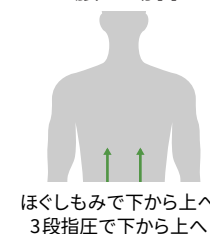
首・肩の場合



背中の場合



腰の場合



●強さの調節について

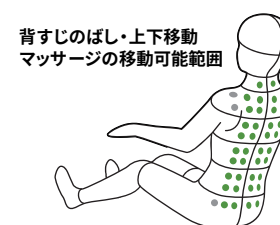
- 安全のために、強さが最大レベル「5」にならない位置があります。
- ただし、「たたき、パイプ」を単独で選んだときは、場所に関係なくレベル「5」にできます。
- 強さがレベル「5もしくは4」のときに横移動のアイコンを押すと、自動的にレベル「3もしくは4」(動作によって変わります)に弱めてから横移動マッサージをはじめます。
- 「背すじのぼし」を単独でまたは、組み合わせて使うときは、場所に関係なくレベル「3」より強くはなりません。



強さを最大レベル「5」にできる位置



強さを「4」までしか強くできない位置



背すじのぼし・上下移動
マッサージの移動可能範囲

強さが「4」になると限界を示す「ビビピッ」という音がします。

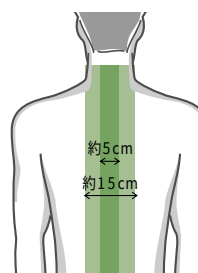
●背すじのぼしマッサージについて

- 間隔が広がった状態でマッサージしているときに、背すじのぼしを押すと、自動的に幅をせまくしてからマッサージをはじめます。

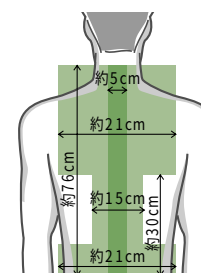
●上半身のマッサージできる範囲

マッサージの内容により次のようにもみ玉が動作します。

「背すじのぼし」の場合



その他

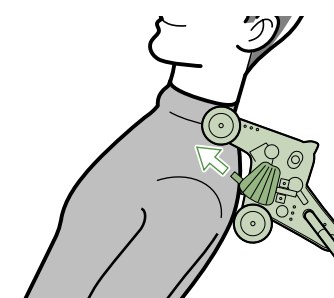
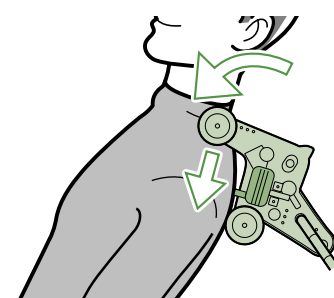
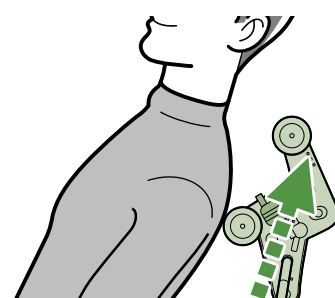


●肩つかみ動作

①肩位置までもみ玉を移動します。

②上のもみ玉で肩を真上から押さええます。

③肩つかみエアユニットが後ろから指圧します。



よりこまかく自分好みのマッサージをしたいときは(お好み動作)

下半身(エアー)のマッサージ

準備 マッサージをする前に脚のせ台の角度やスライドを調節しておきます。(P.6・P.12参照)

1 **入/切** を押す

2 カバーを開ける

3 マッサージしたい部位を選ぶ
●押した部位が動作表示部に表示されます。

4 お好みの動作を選ぶ

切替 を押す

動作の表示は

オートを選んだとき



つかみもみを選んだとき



じっくりもみを選んだとき



●動作中に別の動作や、部位にかえることもできます。部位動作をかえた場合は、すべてのエアーを一度抜いてからはじめます。そのとき、下半身の強さ表示が数秒間、すぐに点灯しないことがありますますが異常ではありません。

バイブレーションと動作を組み合わせることもできます。

- お好みの場所のバイブマッサージボタンを押してください。
- バイブマッサージだけでもお使いいただけます。
- 動作をやめる場合は、やめたい部位のボタンを再度押してください。(他の動作をしているとき可能です)

5 強弱の調節をする

- 3段階に調節できます。
- 好みの強さになるまで何回か押してください。
- 限界点になりますと「ピピピッ」と音が鳴ります。
- 動作表示部に強さの度合(3段階)を表示します。
- バイブは調節できません。(バイブの強さは変わりません)



6 自動的にマッサージ終了

- マッサージを開始してから約15分で自動的に終了します。
- 完全にエアーが抜けるまで数秒かかります。(入/切を押した後もエアーが抜ける音がします)
- 途中で終了したいときは入/切、ただちに停止したいときは停止を押してください。(P.10参照)

基本動作の種類と動きについて(下半身)



- 足横と足裏を圧迫した後、ふくらはぎをポイントごとに圧迫し、ふくらはぎの筋肉をリズムよくほぐします。
- 運動した後など脚の筋肉疲労を感じている方におすすめです。



- 足横と足裏を圧迫した後、ふくらはぎ全体をしぼり上げるようにじっくり時間をかけてもみ上げます。
- 脚がむくみがちな方におすすめです。



- 左記のつかみもみ、じっくりもみに加え、リズムを変えた多様な動作で、疲れた足裏、むくみがちな脚の血行を促進し、疲れを心地よくやわらげます。



- 基本動作との組み合わせにより振動ON/OFFを自動的に繰り返し行います。細かい振動で緊張した体をリラックスさせます。

下半身(脚ストレッチ)のマッサージ

準備 脚のせ台を好みの位置にスライドさせておきます。(P.12参照)

1 **入/切** を押し、カバーを開ける

2 脚ストレッチボタンを押す

- 強さの調節はありません。
- 動作をやめる場合は、再度押してください。(他の動作をしているとき可能です)



- 選択されると動作表示部に表示されます
- 動作中は表示が点滅します



3 自動的にマッサージ終了

- マッサージを開始してから約15分で自動的に終了します。
- 完全にエアーが抜けるまで数秒かかります。(入/切を押した後もエアーが抜ける音がします)
- 途中で終了したいときは入/切、ただちに停止したいときは停止を押してください。(P.10参照)

脚ストレッチマッサージの動作について

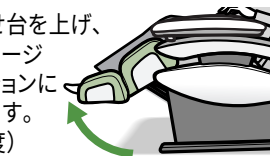
①おしり・ふともも、脚全体をエアーでつかんだ後、脚のせ台を約15度下がる



②脚のせ台をマッサージポジションに上げた後、再度、脚のせ台を約25度下げ、しっかりストレッチします。



③脚のせ台を上げ、マッサージポジションに戻します。(45度)



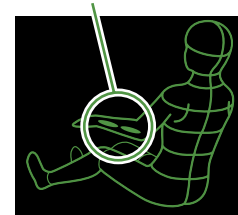
手・腕のマッサージ

1 **入/切** を押し、カバーを開ける

2 手・腕 部位選択ボタンを押す



- 選択されると動作表示部に表示されます



3 動作を選ぶ

切替 を押す

動作の表示は

オートを選んだとき



つかみもみを選んだとき



じっくりもみを選んだとき



4 強弱の調節をする

- 3段階に調節できます。
- 好みの強さになるまで何回か押してください。
- 動作表示部に強さの度合(3段階)を表示します。
- 動作をやめる場合は、動作表示が消えるまで何回か押してください。(他の動作をしているとき可能です)



5 自動的にマッサージ終了

- マッサージを開始してから約15分で自動的に終了します。
- 完全にエアーが抜けるまで数秒かかります。(入/切を押した後もエアーが抜ける音がします)
- 途中で終了したいときは入/切、ただちに停止したいときは停止を押してください。(P.10参照)

基本動作の種類と動きについて(手・腕)



- 手をはさんでほぐした後、前腕の筋肉をリズムよくほぐします。
- 運動の後など筋肉疲労を感じている方におすすめです。



- 手から前腕全体をじっくり、しっかりつかみほぐします。
- 血行不良によるだるさを感じる方におすすめです。



- 前記の、つかみもみ、じっくりもみの2つの動作を交互に行い、腕の緊張をほぐし、腕全体の血行を促進します。

マッサージが終わったら

椅子を元に戻す

- 1 脚のせ台の下に人やペットがいないか、脚のせ台のエアが抜けているか確認する

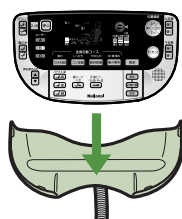


- 2 背もたれと脚のせ台が元の位置に戻るまで  を押しつづける

- 脚のせ台をスライドさせているときは、元に戻してから  を押ししてください。
-  を2回押すと、自動的に背もたれが起き上がります。



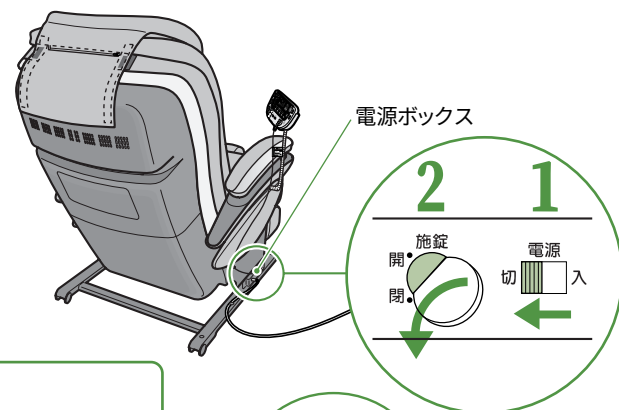
- 3 操作器を操作器スタンドに置く



- 4 背クッション、枕をはね上げた場合は元の位置に戻す

電源を切る

- 1 電源スイッチを「切」にする
- 2 施錠スイッチを、お持ちのメダル形状のもので「閉」にする
- 3 電源プラグを抜く



⚠ 注意

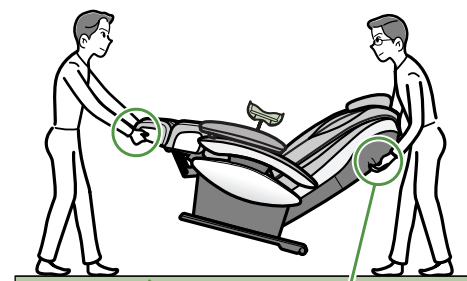
- 使用後は必ず電源スイッチを「切」にし、施錠スイッチを「閉」にする。守らないと子供のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。守らないと感電やショートのおそれがあります。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

お手入れの仕方

椅子を移動するとき

持ち上げて運ぶとき

- 前後から二人で脚のせ台の両側のパイプ部、裏カバーの取っ手を持って移動する。
※ 本体を落とすと、床をキズつけるおそれがありますので、取っ手・脚のせ台をしっかり持ってください。
- ※ 操作器を操作器スタンドから、はずして座部へおいてください。
- ※ 脚のせ台のスライドは一番手前に引いた（縮めた）状態にしてから運んでください。
- ※ ひじ掛け開閉部を持って椅子を移動させないでください。



キャスターで移動するとき

- 脚のせ台の両側のパイプ部を持ち、キャスターで移動してください。
※ 重量がありますのでご注意ください。
- もみ玉を最上部にし、背もたれをおこしておくと移動しやすくなります。
- ※ 床をキズつけるおそれがありますので、マットなどを敷いてゆっくり移動してください。
- ※ 人をのせたまま移動しないでください。
- ※ 操作器を操作器スタンドから、はずして座部へおいてください。
- ※ 脚のせ台のスライドは一番手前に引いた（縮めた）状態にしてから運んでください。
- ※ ひじ掛け開閉部を持って椅子を移動させないでください。

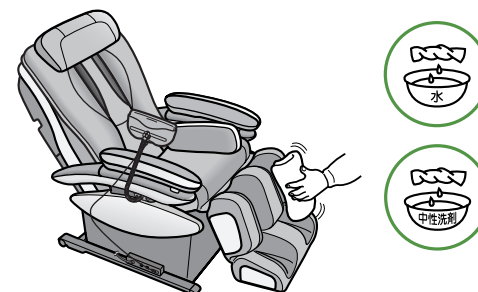


⚠ 注意

- 人をのせたまま移動しない。
- キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全におこした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ（約80cm以下）、ゆっくり移動する。
守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。

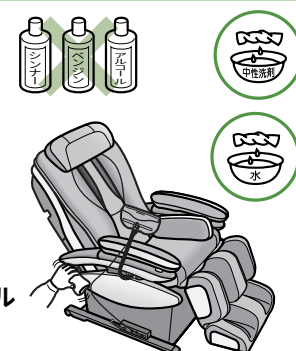
合成皮革部分

- 日常のお手入れは柔らかい乾いた布で軽くふいてください。
市販のレザーお手入れ用品（化学ぞうきん、薬品など）は使用しないでください。
- 万一汚れたときは、水または中性洗剤を3～5%位にぬるま湯でうすめ、柔らかい布をひたし、よくしぼって表面をたたくようにふきとってください。そのあと、水でひたした布をよくしぼって洗浄液をふきとり、柔らかい乾いた布で軽くふいたあと、自然乾燥させてください。
（ドライヤーなどで急激に乾燥しないでください）



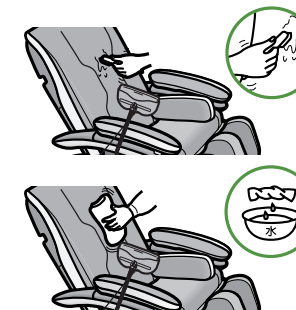
パイプ/プラスチック部分

- 1 中性洗剤を含ませた布をよくしぼってからふく。
 - 2 仕上げに水を含ませた布をよくしぼってからふく。
※ 操作器をお手入れする際は、特によくしぼってからふくようにしてください。
 - 3 自然乾燥させる。
- シンナーやベンジン、アルコールは絶対使用しないでください。



布地部分

- 1 中性洗剤を含ませた布をよくしぼってからふく。
- 2 特に汚れがひどい場合は、水または中性洗剤でブラシ洗浄する。
（こすりすぎると、布地をいためることがあります）
- 3 水を含ませた布をよくしぼってからふきとる。
- 4 自然乾燥させる。



⚠ 注意

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。守らないと感電やけがのおそれがあります。

Q 左右の強さが異なるように感じるけれどだいじょうぶ？

A 構造上やむをえず異なって感じる場合があります。

より自然な感覚でマッサージを行うために交互たたき機構を採用している関係で、やむをえずもみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じるがありますが、故障ではありません。

Q より強くマッサージする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背クッションを椅子のうしろにはね上げる。
- 背もたれを倒す。(もみ玉に自分の体重が、より深く、強くかかるようになります)
- 深く腰かけ、体をしっかりと背もたれに密着させる。

Q 「肩つかみ」のより効果的な使用方法はありますか？

A 次のことをお試しください。

1. セーターや上着を着用しているときは脱ぐ。
2. 肩位置はやや下め(強く当たるように)にあわせる。
3. 背もたれを倒す。
4. 肩位置の確認動作(ソフトタタキ)時、または肩つかみ動作時に、より奥に肩を入れる。(体を左右に動かしながら、奥に入れてください。)
5. それでも感じにくい場合は、枕と背クッションをはずす。

Q 「脚ストレッチ」のより効果的な使用方法はありますか？

A 次のことをお試しください。

ひざ裏が座面の先端付近に合うように座り、脚のせ台をスライドし調節してください。

Q 操作器スタンドがぐらぐらするのですが…。

A 固定ネジをメダル形状のものでしめなおしてください。

操作器ホルダー部分がはずれた場合は、固定ネジをゆるめてから始めこみ、再度固定ネジをしめてください。
また、取付ネジも確認し、ゆるんでいる場合は、六角レンチでしめなおしてください。

Q 病気で通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師と相談のうえ、使用してください。

マッサージは「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては、悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。(P.1～P.2参照)

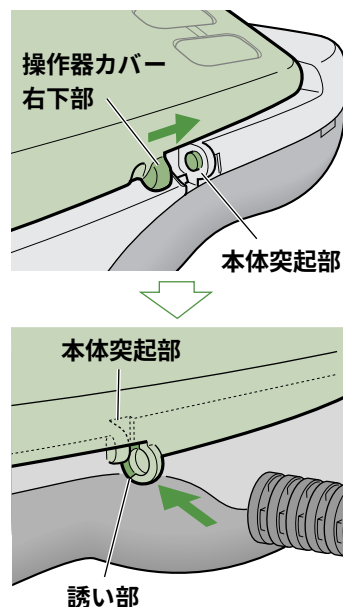
Q 操作器のカバーがとれてしまったけど、直りますか？

A 下記の手順で取付けてください。

1 操作器カバーの右下部を本体の突起部に合わせる。

2 操作器カバーの左下部の溝(誘い部)にを本体の突起部を合わせる。

3 操作器カバーの左下部を矢印の方向へ押し込む。



Q 1カ月の電気代はいくらですか？

A 1日30分(15分×2回)で毎日使用した場合で約66円/月です。(税込み)
(2004年5月現在、当社調べ)

Q ホットカーペットを椅子の下に敷いてもいいですか？

A 火災のおそれがあるので、おやめください。

ホットカーペットの発熱体を痛め、そこから火災になるおそれがあります。

Q 長く使っていて音が大きくなりましたが…。

A 故障の場合も考えられますので販売店に点検・修理をご依頼ください

長くお使いいただくと、機構部のグリス切れやベルトの摩耗などが原因で音が大きくなる場合があります。
使い方によりますが、目安として1日30分のご使用で1～2年程度に1度点検していただきますと、より長く快適にご使用になれます。

Q 自動的にマッサージが終了してしまうことがあるの？

A 使いすぎ防止タイマー(内蔵)が働いて、約15分で自動的に終了します。

センシングの開始時または、お好み動作のいずれかの動作選択ボタンを押した後からタイマーが自動的に働きます。
約15分でタイマーが切れ、もみ玉が下部に移動して収納状態で止まり、操作器の各ランプが消えます。
再度ご使用のときは、**入/切**を押してください。
※エアーマッサージも約15分でタイマーが切れます。
※15分使用した後は10分程休みましょう。
※1日2回まで(30分)を目安にご使用ください。

Q 自動リクライニングしない場合がありますか？

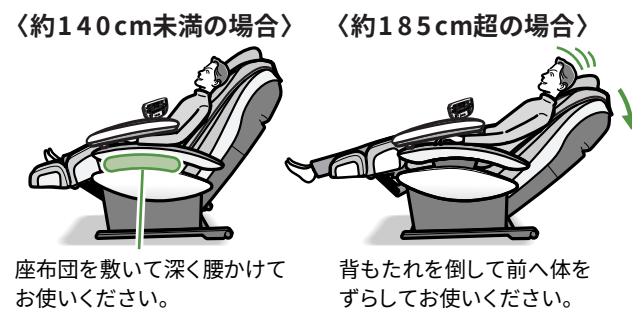
A あります。

- マッサージポジションより背もたれが倒れ、脚のせ台が上がっている場合は自動リクライニングしません。
(背もたれ、脚のせ台それぞれ自動リクライニングします)
- お好み動作でご使用される場合も自動リクライニングしません。

Q 身長が約140cm未満の人や、約185cm以上の人は使えないのですか？

A お使いいただけます。

体型センシングの際に、肩位置が合わない場合がありますので、下記のような方法でご使用することをおすすめします。
ただし、約140cm～約185cmの方でも体型などにより合わない場合があります。



Q マッサージ中に**入/切**を押すと、自動でおき上がってきますがなぜですか？

A 自動復帰機能があるからです。

- **自動復帰とは？**
自動的に脚のせ台が下がり、同時にもみ玉が収納位置まで移動します。もみ玉が停止後、背もたれがおき上がります。
- **自動復帰しない場合**
自動コースのプログラム終了後、使いすぎ防止タイマーが働いたとき、もしくは**停止**を押したときは、自動復帰動作は行いません。

Q 手・腕エアーマッサージの後、手・腕の裏に赤い点が残るんですが…。

A 使用後、手や腕にマッサージの跡が残る場合があります。これは施療によるものです。時間とともに消えていきますので問題ありません。

Q 位置・強弱などの調節をしてもすぐに動作が切り替らないのですが…。

A 押すタイミングによっては、すぐに切り替らないことがあります。(わずかな時間差がありますが、異常ではありません)
また、ボタンを押して「ピピピッ」と音が鳴るときは、限界点まで達しており、それ以上調節できません。

Q 体型センシングしても肩位置が合わないの？
(あるいは毎回、肩位置がずれるんですが)

A 座る位置や姿勢(前かがみなど)によって正しく体型をセンシングできない場合があります。

肩位置合わせボタンで肩位置を調整してください。(P.10参照)
より正しくセンシングするためには、椅子に深く腰かけ、頭を枕(背クッション、背もたれ)につけるようにゆったりともたれてください。

Q 音量を「切」にしているのに「ピッ」または「ピピピッ」という音が切れないのですか？

A 「ピッ」または「ピピピッ」などの電子音につきましては安全上、動作や状態を音で知らせるためですので切れないようにしています。(音声のみ「切」となります)

Q ユーザープログラム機能を使うと、元々の自動コースは使えなくなる(無くなる)の？

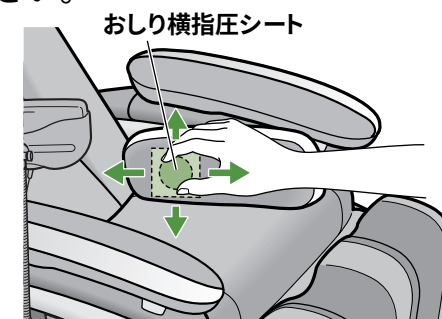
A 全身自動コース・問診コースを始めるときに、ユーザーボタンを押さずに使用すれば、元々の自動コースでマッサージします。

Q ユーザープログラム機能を使ってもプログラム(もみ方)が変わっている気がしないのだけど…。

A 元々の自動コースは、プロのマッサージ師が行う動作を参考に作られています。その基本的な動作を守りながら変更するため、マッサージ1回の変更では大きくコースの内容が変わったと感じにくいことがあります。ただし、プログラムは繰り返し好みに合わせて内容を更新することができますので、よりお好みのマッサージコースにすることができます。

Q おしりの横のマッサージが強く感じる時、調節する方法はありますか？

A 生地の内側に内蔵されているおしり横指圧シートをお好みの位置に微調節してください。



故障かな?と思ったとき

動作中発生する音や感覚について

ご使用中に下記のような動作音や感覚がありますが、構造上発生するものですので異常ではありません。

- 動作時にもみ玉が生地のシワを乗り越えるときの音・感覚（ポコン音・カクン音）
- もみ・たたき動作などの動作音（カタカタ音・ゴトゴト音）
- もみ玉動作時のキシミ音（キシキシ音）
- 肩つかみ動作時の動作音（ウィーン音・ブーン音・スー音）
- パイプ動作時の動作音（ブーン音）
- 上下動作時の動作音（カタカタ音）
- ベルトの回転音（シュルシュル音）
- モーター音（ウォーン音・ウィーン音・ジー音）
- もみ玉『押し』から『引き』に変わる際の音（カクン音）
- 着座時の音（ギュッ音）
- リクライニング時のひじ掛けと背クッションのこすれ音（ギュー音）
- もみ玉と布のこすれ音（ギュッギュ音）
- 電源スイッチを「入」にしたときの待機状態の音（ジー音）
- エアーマッサージ中の加圧する動作音（ブー音）
- エアーマッサージ中の排気する音（シュー音・スー音）
- 脚のせ台のガタつき
- 座部下からのポンプ動作音（ウーン音・ブーン音）
- 脚ストレッチ、エアー開放時カクン動作音

症 状

もみ玉が途中で止まる。
（操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する）

もみ玉が肩や首の位置まで来ない。

左右のもみ玉の高さが異なる。

リクライニングができない。
脚のせ台の上げ下げができない。
（操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する）

自動コースでマッサージを
スタートしてもリクライニング
しない
（自動リクライニングしない）

リクライニングが自動復帰しない。

問診コースのボタンを押しても
ボタンが点灯しない。
（お疲れ度を設定できない）

脚のせ台が下がらない。

動作しない。

- 上半身（首～腰）のマッサージ
- ふくらはぎ～お尻のマッサージ

腕マッサージが動作しない。

破損してしまった。

電源コード、プラグが異常に熱い。

原因と処置

ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のために
もみ玉の動きが止まることがあります。

万一動作表示部やボタンがすべて点滅してもみ玉の動きが停止した場合、椅子の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから再度操作してください。再度止まる場合は、体を浮かし気味にしてご使用ください。（特に体重100kg以上の方がご使用になるときはご注意ください。）

肩位置が合っていない。  P.10参照

交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。  P.27参照

障害物にあたるなどご使用中、無理に力がかかった場合、安全のために動作が止まることがあります。
万一動作表示部やボタンがすべて点滅して脚のせ台が停止した場合、椅子の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから再度操作してください。

背もたれや脚のせ台の位置（角度）により自動リクライニングする場合としない場合があります。  P.9・P.27参照

使いすぎ防止タイマーが働いたとき、またはを押したときは自動復帰しません。（復帰させたい場合はを2回押してください。）  P.27参照

カバーがしっかり閉められていない。  P.13参照

脚のせ台のスライドを前方に伸ばしたまま下げようとすると床に当たるため、途中で下がらなくなります。その場合は、脚スライドレバーを引き戻してからご使用ください。

- 電源プラグが抜けている。  P.5参照
- 椅子の電源スイッチが「切」になっている。
- 操作器のを押した後、コースボタンや動作選択ボタンを押していない。  P.9・P.13・P.17・P.20・P.23参照

- 電源プラグが抜けている。  P.5参照
- 椅子の電源スイッチが「切」になっている。
- 操作器のを押した後、コースボタンや動作選択ボタンを押していない。  P.9・P.13・P.17・P.20・P.23参照

- エアープラグが正しく接続されていない。抜けている。  P.4参照

愛情点検

★長年ご使用の電気器具の点検をぜひ！



このようなことはありませんか？

- コードやプラグが異常に熱い。
- 動作中に異常な音、振動がある。
- スイッチを入れても、時々運転しないことがある。
- 本体が変形したり、こげくさい臭いがする。

お願い

故障や事故防止のため、使用を中止しプラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

使い方によりますが、目安として1日30分のご使用で1～2年程度に1度点検していただきますと、より長く快適にご使用になれます。

点検後なお異常がある

ただちに使用を中止

●お願い●

このような場合、事故防止のため必ず販売店に点検・修理を依頼してください。使用期間（時間）や故障内容（使い方）によって有料修理になります。

警告

- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

注意

- 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。守らないと感電や発火のおそれがあります。

定格・仕様

販 売 名		リアルプロGⅡ EP3500	
使 用 電 源		交流100V 50/60Hz	
消 費 電 力		200W	
類 別		パイレーターのうち家庭用電気マッサージ器	
一 般 的 名 称		家庭用電気マッサージ器	
医 療 用 具 許 可 番 号		25BZ0087	
上半身マッサージ	施療範囲（上下方向）	約76cm（もみ玉移動距離約65cm）	
	施療範囲（左右方向）	もみ動作時のもみ玉間隔（もみ幅調整） 首・肩・腰部 約5cm～約21cm 背中部 約5cm～約15cm	
	施療範囲（前後方向）	もみ玉の突出量（強弱調整）約10cm	
	上 下 移 動 速 さ	約25秒～約90秒で1往復	
	マ ッ サ ー ジ 速 さ	押しもみ/はさみもみ 約9～約15回/分 たたき 約200～約700回/分（片側）	
	横移動／上下移動距離	横移動 約5cmの範囲で左右方向に自動反復 上下移動（全体） 約76cmの範囲で上下方向に自動反復 上下移動（部分） 約10cmの範囲で上下方向に自動反復	
	マ ッ サ ー ジ 幅	背すじのぼし・上下移動時 約5～15cm（もみ玉の幅含む） 上記以外 施療範囲（左右方向）と同じ	
腕マッサージ	エ ア ー 圧 力	（つかみもみ時） 強…約33kPa 中…約22kPa 弱…約13kPa ※部位によって若干の違いがあります。	
下半身マッサージ	エ ア ー 圧 力	ふくらはぎ部（つかみもみ時） 強…約25kPa 中…約18kPa 弱…約11kPa ※部位によって若干の違いがあります。	おしり・ふともも部（つかみもみ時） 強…約32kPa 中…約28kPa 弱…約12kPa
リ ク ラ イ ニ ン グ 角 度		背もたれ…約120度～170度 脚のせ台…約5度～85度	
タ イ マ ー		上半身・下半身ともに 約15分	
大 き さ		リクライニングしていないとき 高さ約115×幅約84×奥行約125cm リクライニングしたとき 高さ約72×幅約84×奥行約185cm ※ひじ掛けを取りはずすと幅約68cm	
質 量		約79kg	
張 地		合成皮革	
製 造 業 者		松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地	